

「障害児入所施設実態把握調査」の結果（速報） について

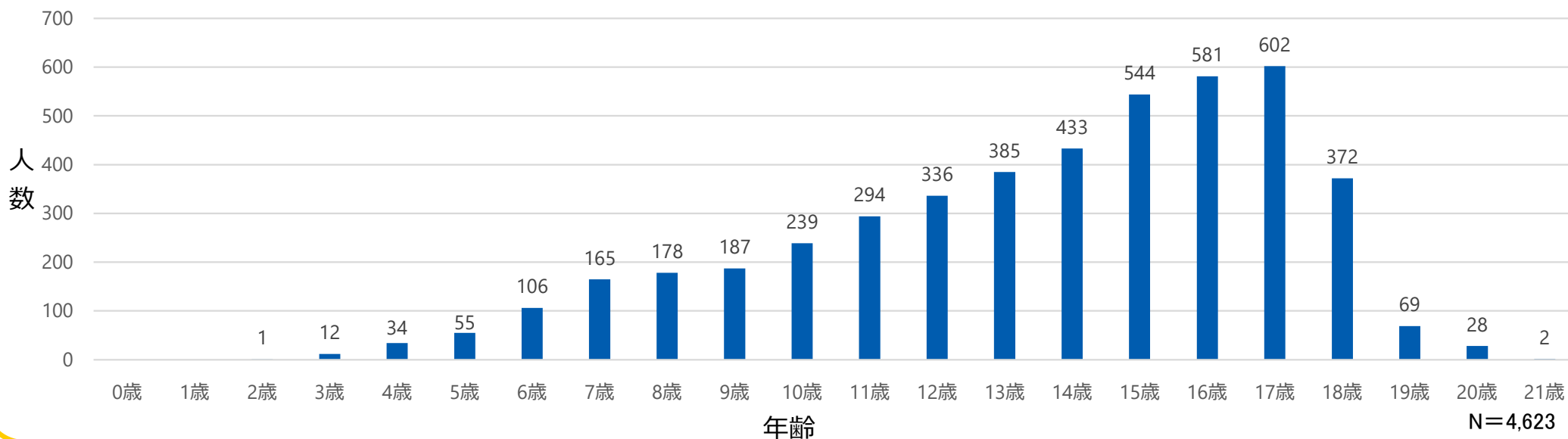
【本資料作成上の留意点】

- ・ 現在集計中の段階のため、数値に関して精査中であり今後変更がありえる。

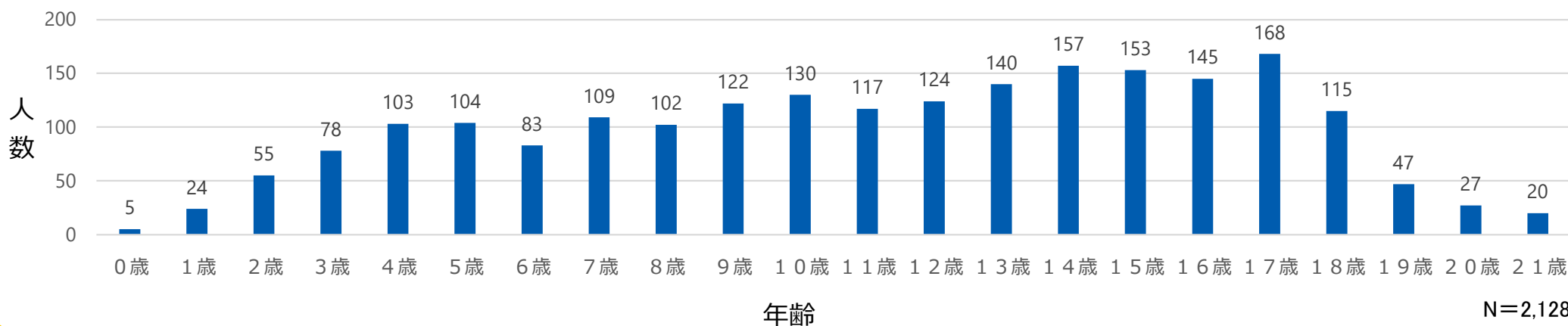
1. 入所児童年齢

速報値

福祉型障害児入所施設



医療型障害児入所施設

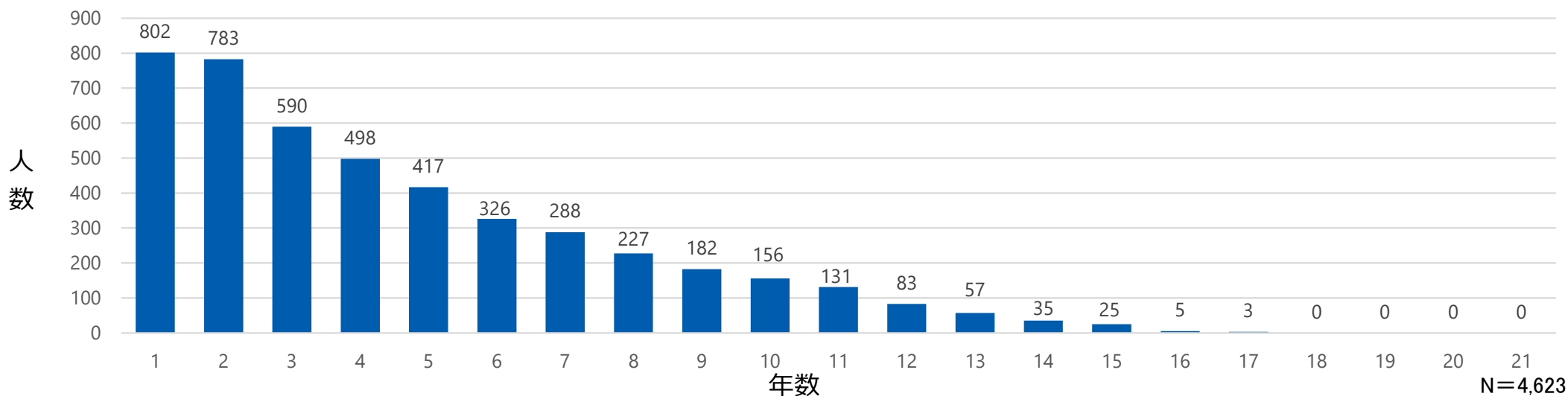


出典:こども家庭庁支援局障害児支援課調べ(令和7年4月1日時点)

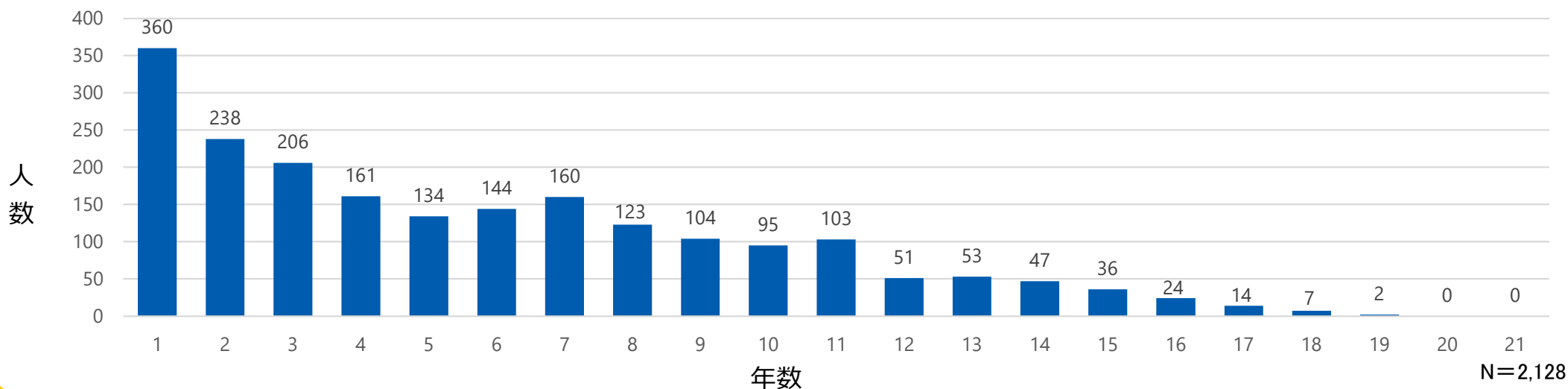
2. 在籍年数

速報値

福祉型障害児入所施設



医療型障害児入所施設



出典:こども家庭庁支援局障害児支援課調べ(令和7年4月1日時点)

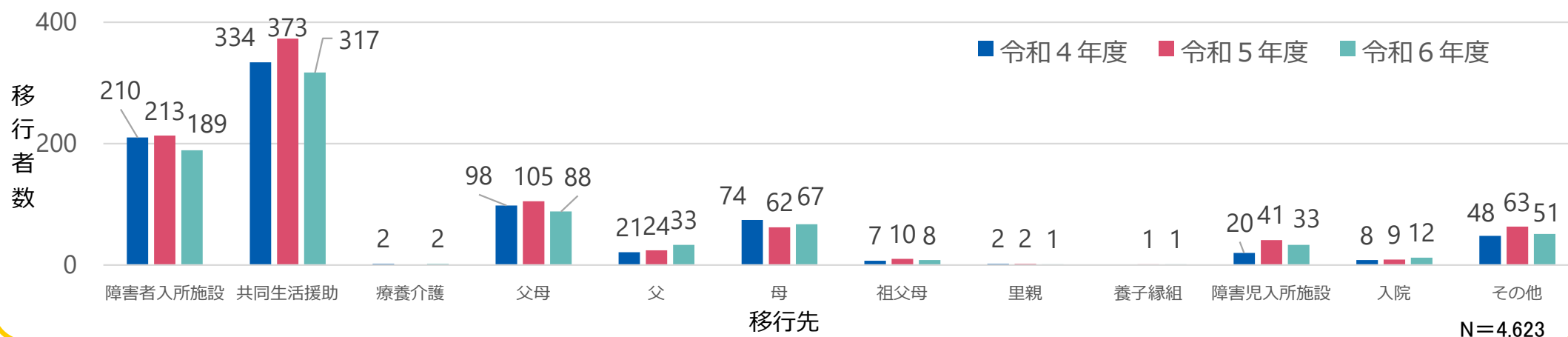
3. 過去3年間の移行状況

速報値

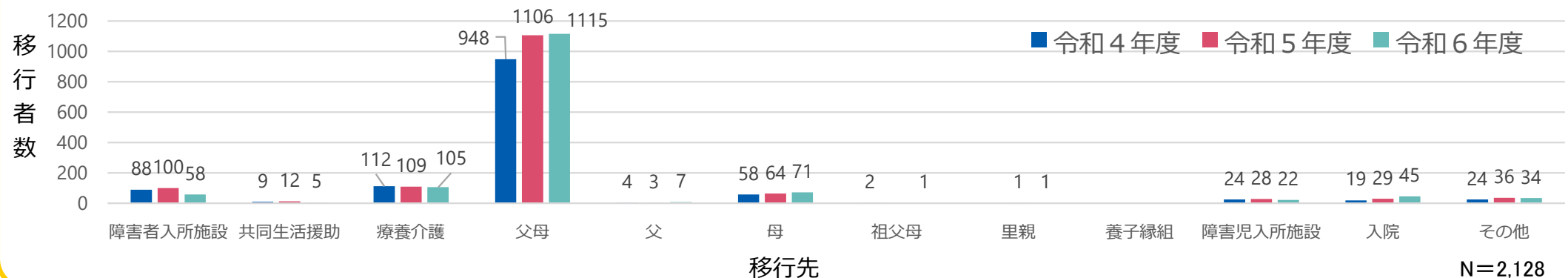
現状

- 福祉型では、共同生活援助、障害者入所施設、父母の順に移行人数が多くなっている。
- 医療型では、父母、療養介護、障害者入所施設の順に移行人数が多くなっている。

福祉型障害児入所施設



医療型障害児入所施設



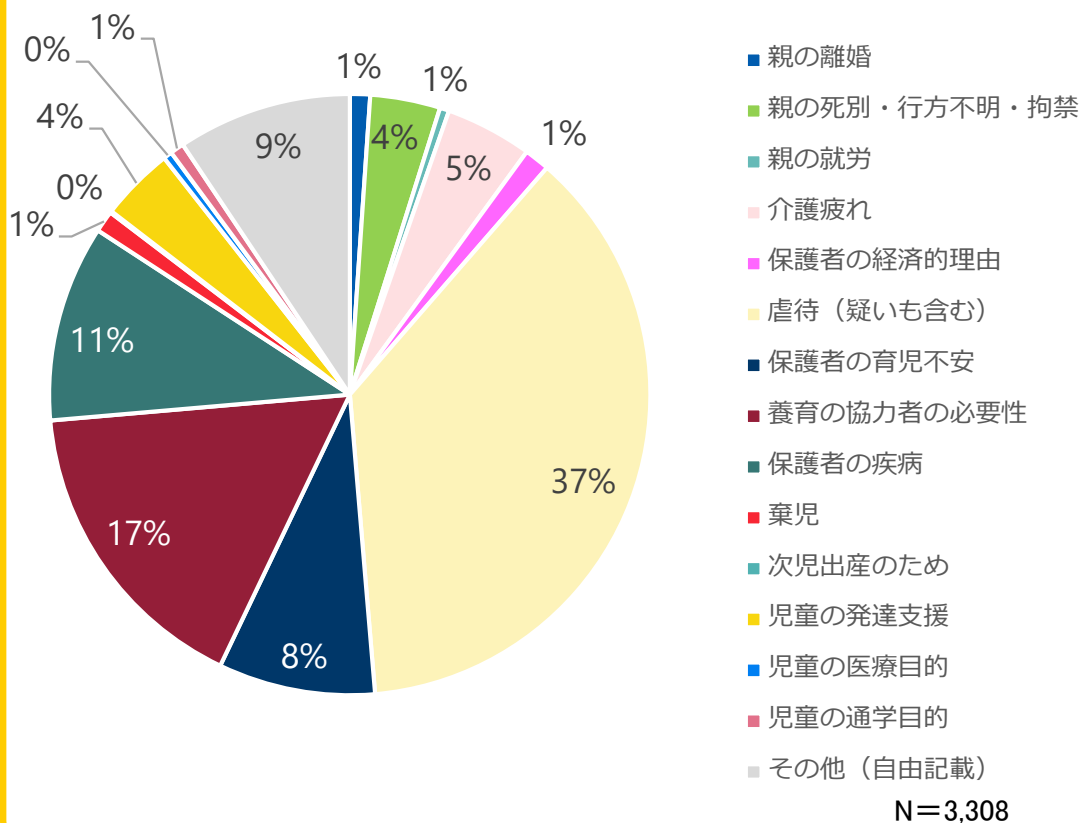
4. 入所理由【福祉型】

速報値

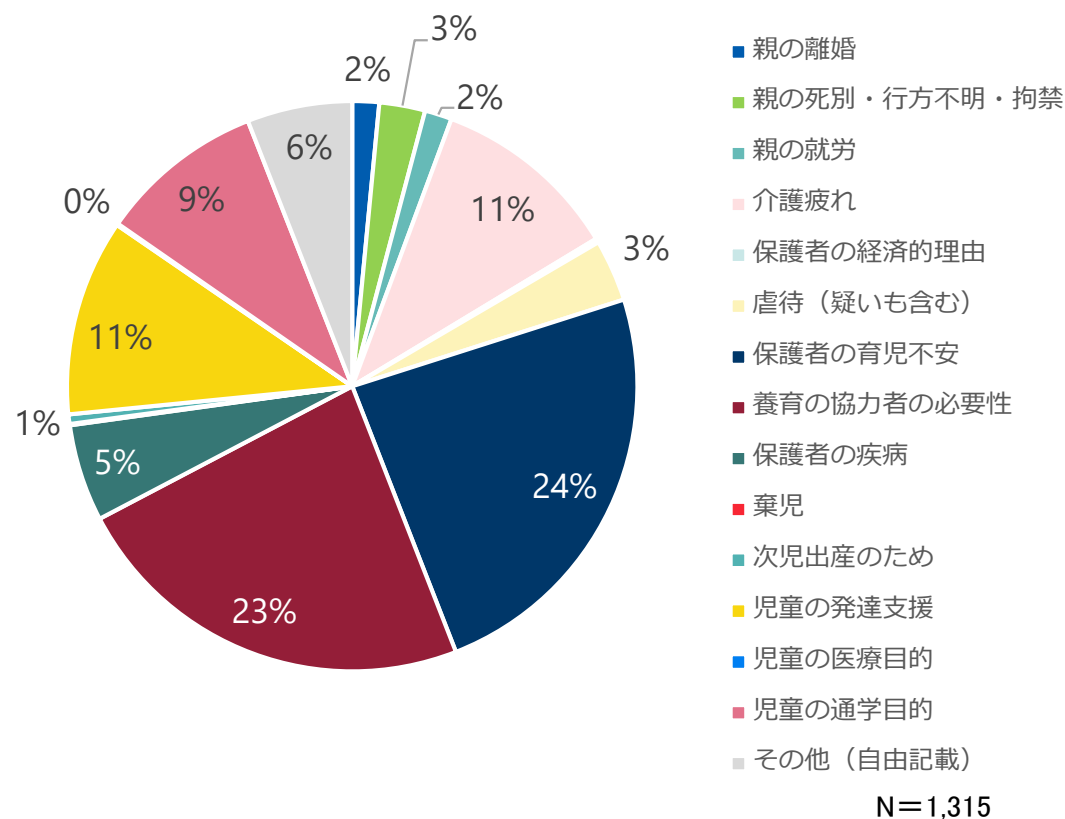
現状

- 福祉型(措置)では虐待(疑い含む)の割合が高く、養育の協力者の必要性、保護者の疾病、保護者の育児不安の順に高い割合となっている。
- 福祉型(契約)では、保護者の育児不安、養育の協力者の必要性の割合が高く、次いで介護疲れ、児童の発達支援、児童の通学目的とした入所も高い割合となっている。

福祉型（措置）



福祉型（契約）



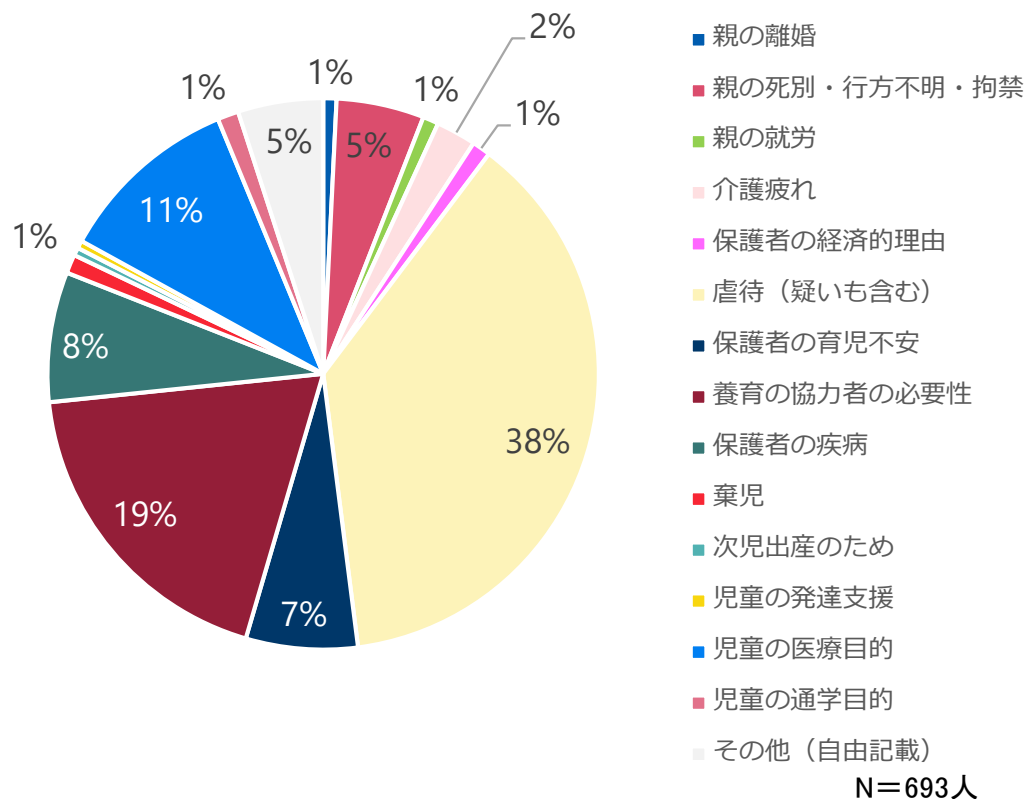
4. 入所理由【医療型】

速報値

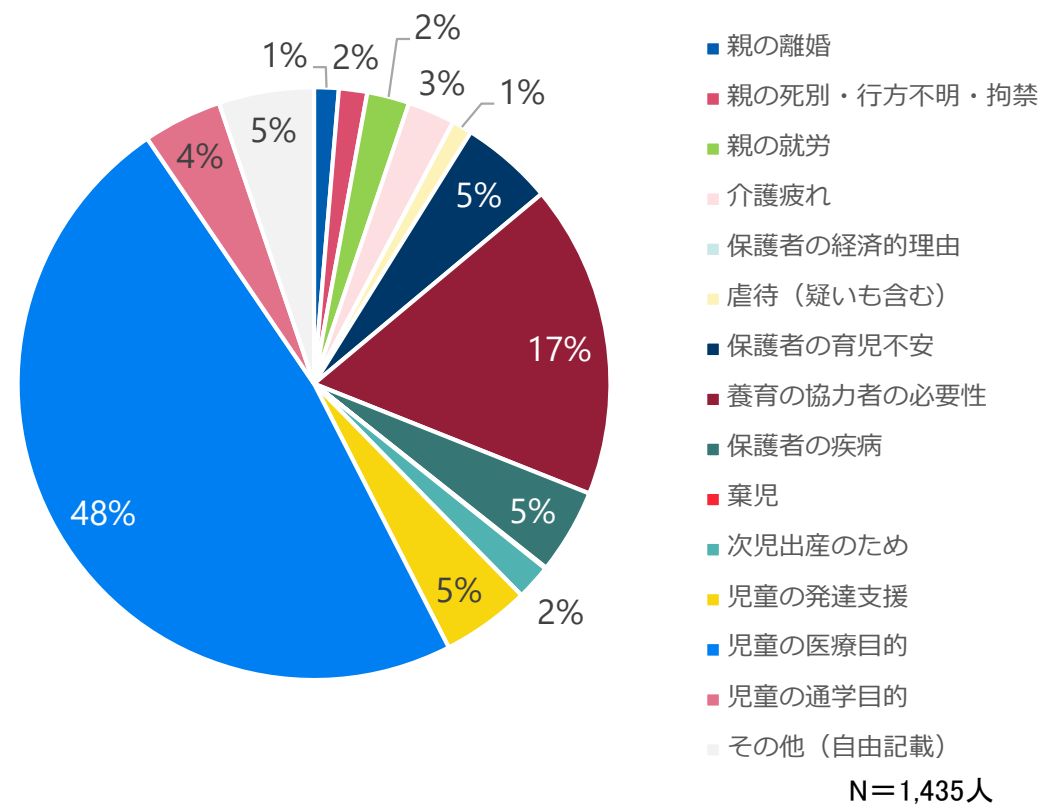
現状

- 医療型(措置)では、虐待(疑いも含む)、養育の協力者の必要性の割合が高くなっている。また、児童の医療目的、保護者の疾病、保護者の育児不安も高い割合になっている。
- 医療型(契約)では、児童の医療目的の割合が高く、次いで養育の協力者の必要性の割合が高くなっている。

医療型（措置）



医療型（契約）



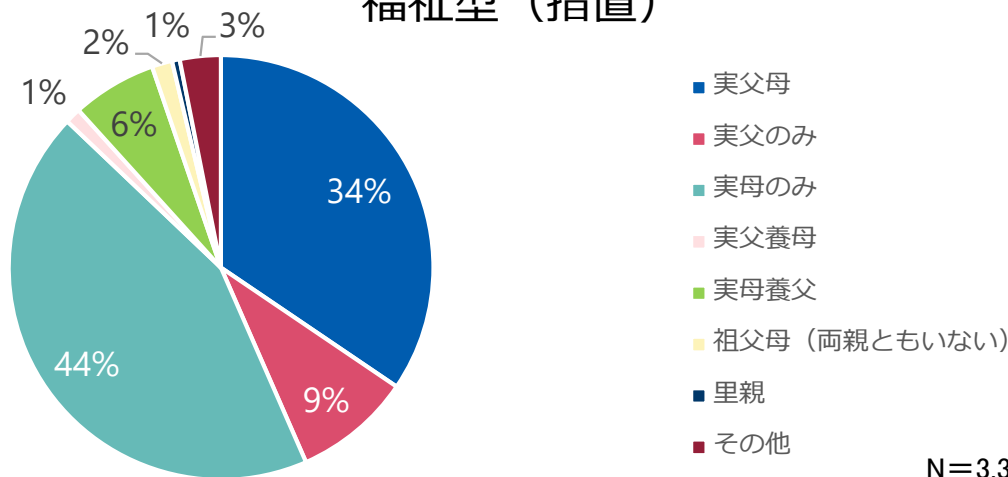
5. 入所時の保護者の状況

速報値

現状

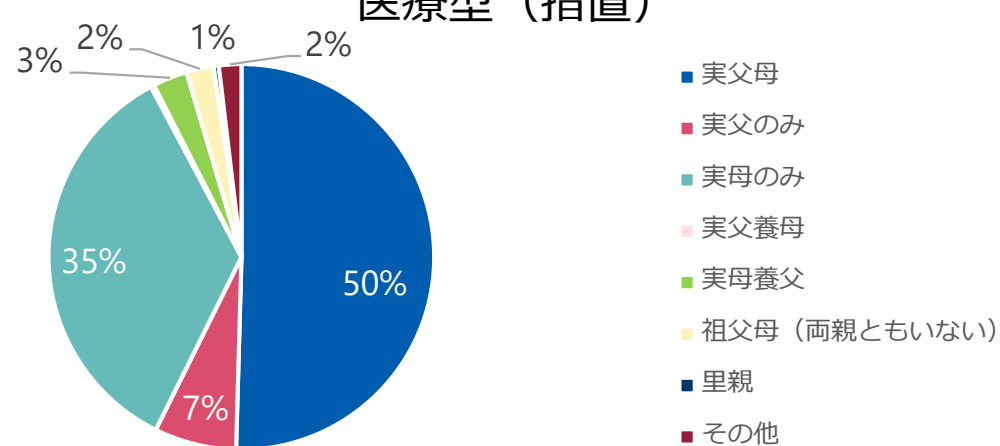
- 措置に関しては、福祉型は実母のみ、実父母の順に割合が高く、医療型は実父母、実母のみの順に割合が高い。
- 契約に関しては、福祉型、医療型共に実父母、実母のみの順に割合が高くなっている。

福祉型（措置）



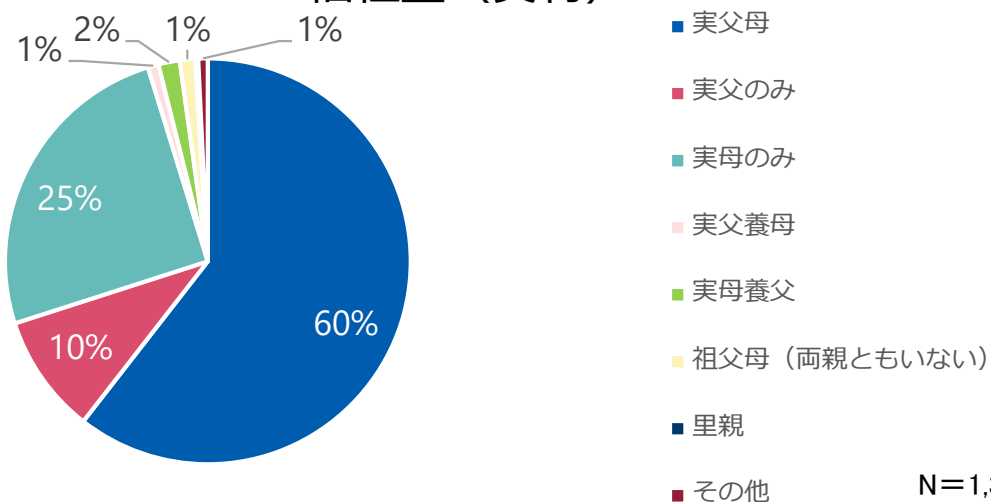
N=3,308

医療型（措置）



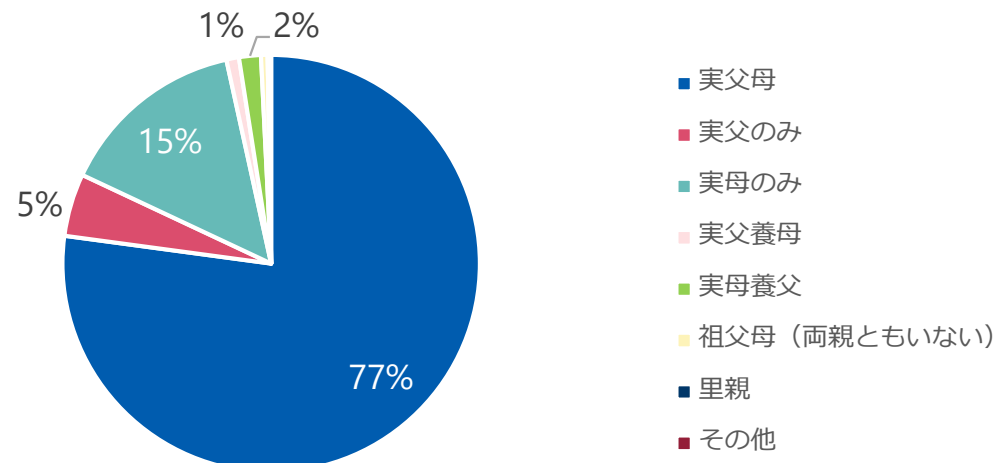
N=693

福祉型（契約）



N=1,315

医療型（契約）



N=1,435

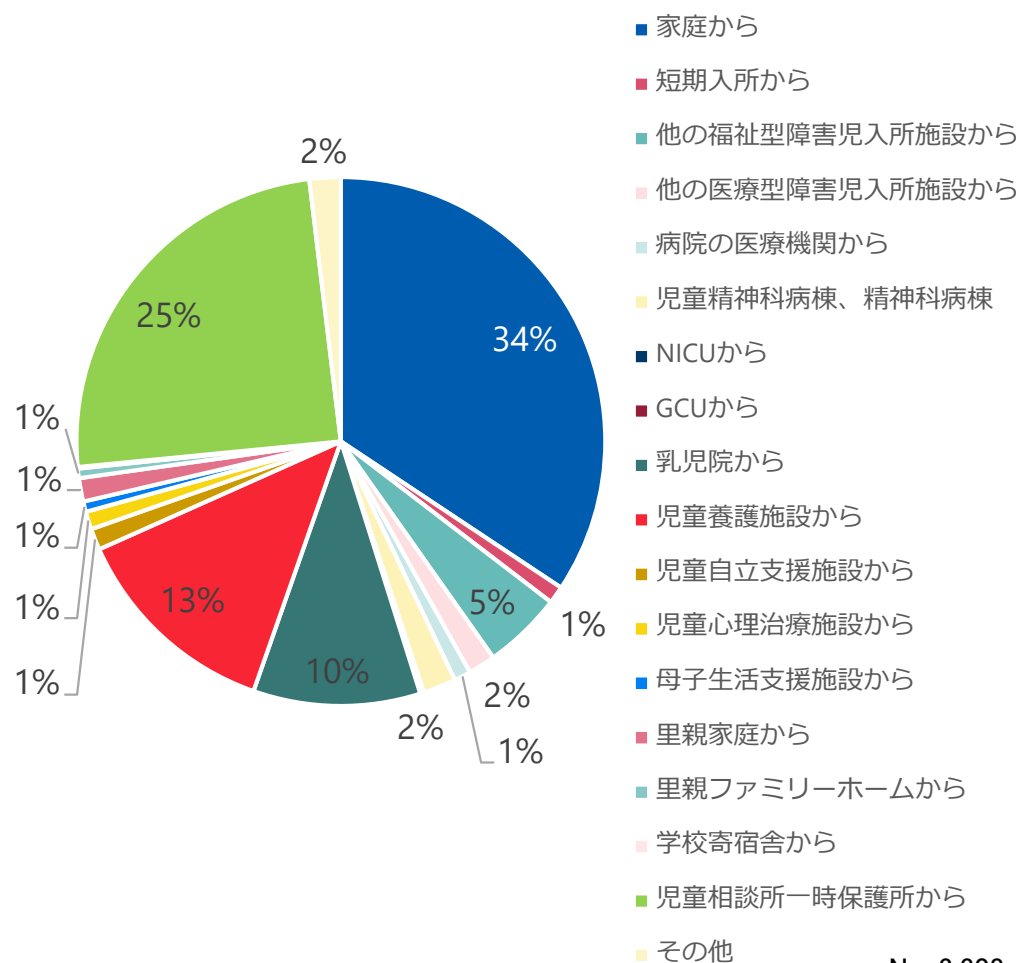
6. 入所経路について【福祉型】

速報値

現状

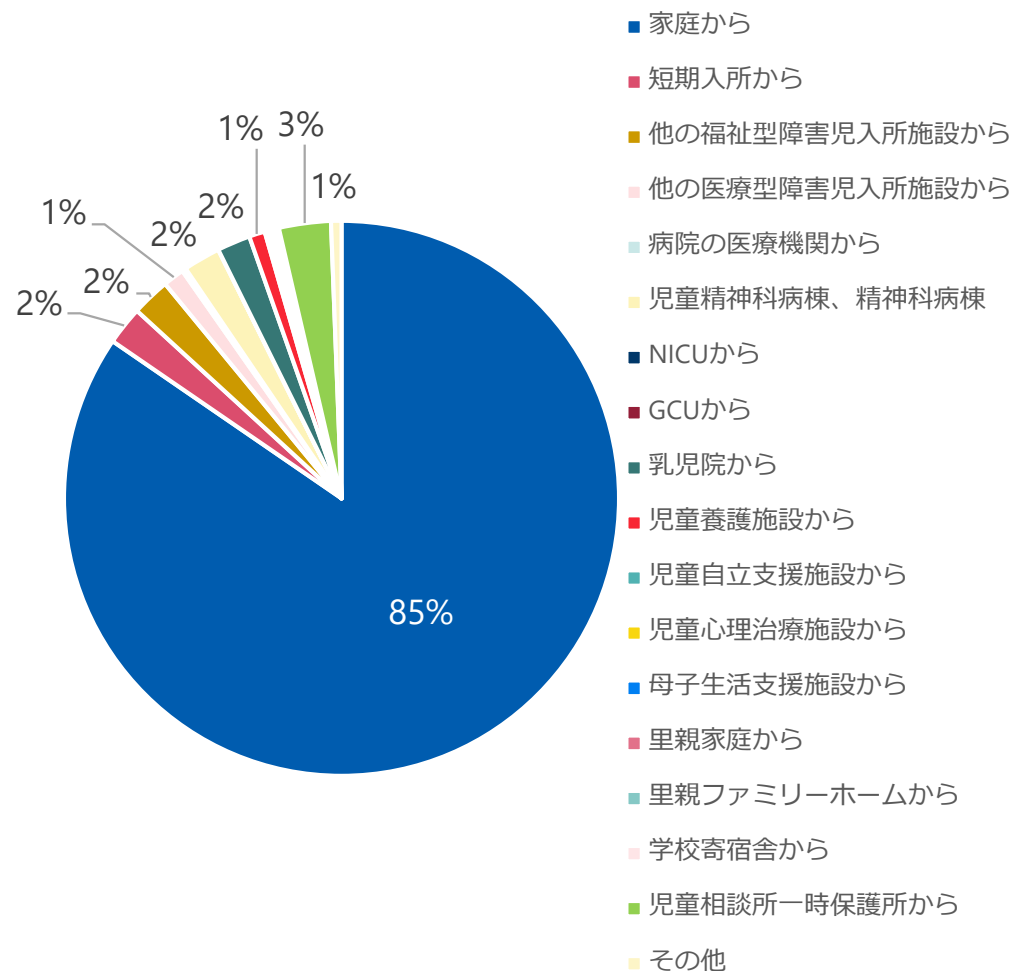
- 福祉型の措置に関しては、家庭からと児童相談所一時保護所からの入所の割合が高く、児童養護施設、乳児院からの入所の順に割合が高くなっている。
- 福祉型の契約に関しては、家庭からの入所の割合が高くなっている。

福祉型（措置）



N=3,308

福祉型（契約）



N=1,315

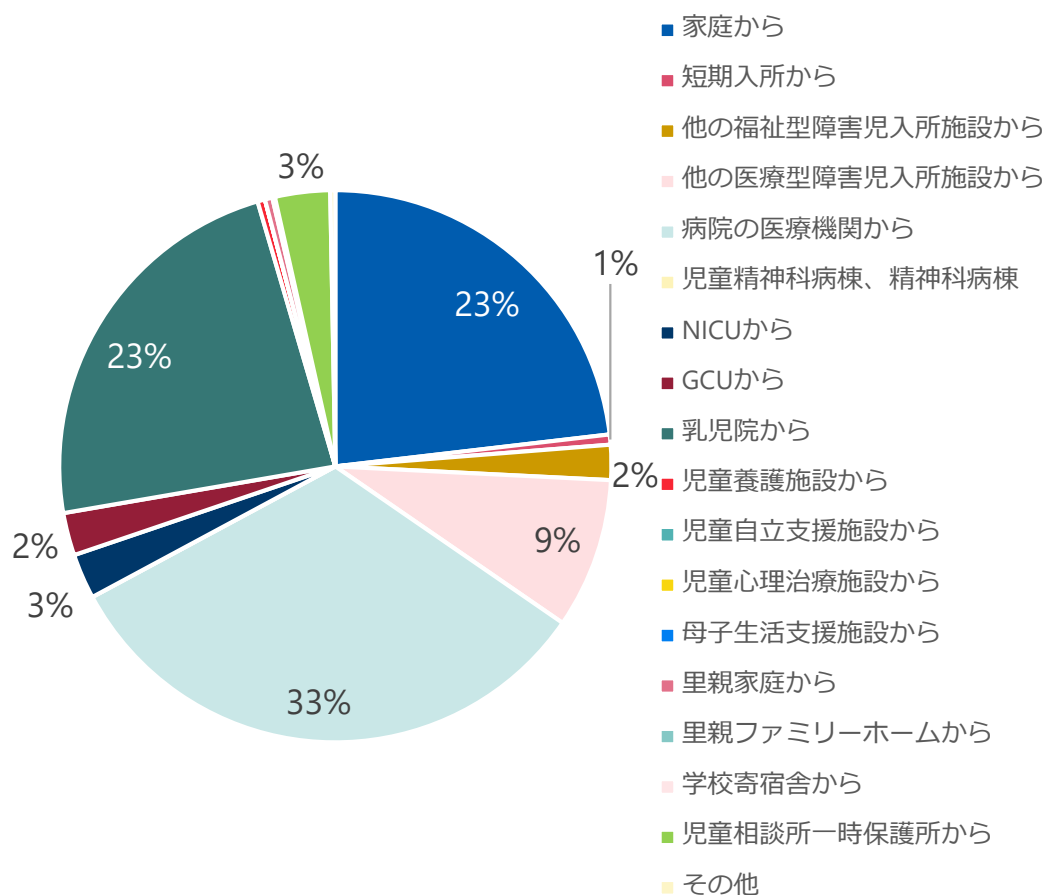
6. 入所経路について【医療型】

速報値

現状

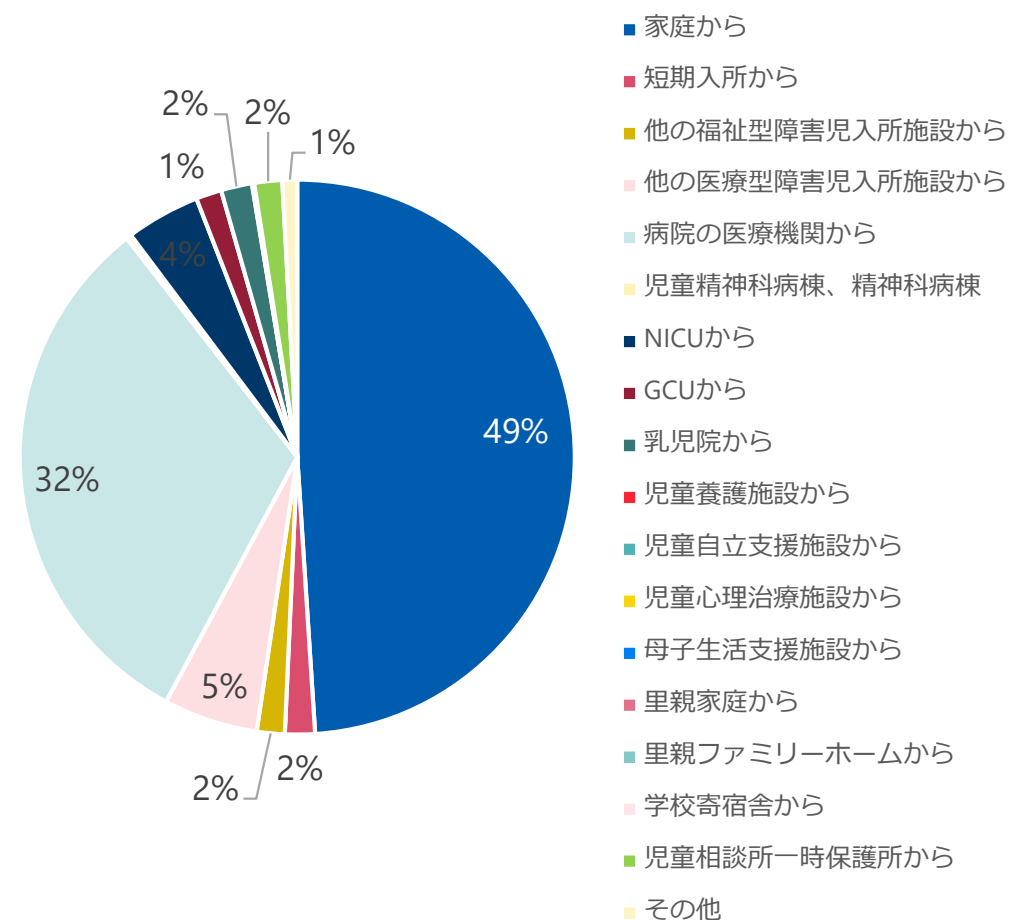
- 医療型の措置に関しては、病院の医療機関、家庭、乳児院からの入所の割合が高くなっている。
- 医療型の契約に関しては、家庭からの入所、次に病院の医療機関からの入所の割合が高くなっている。

医療型（措置）



N=693

医療型（契約）



N=1,435

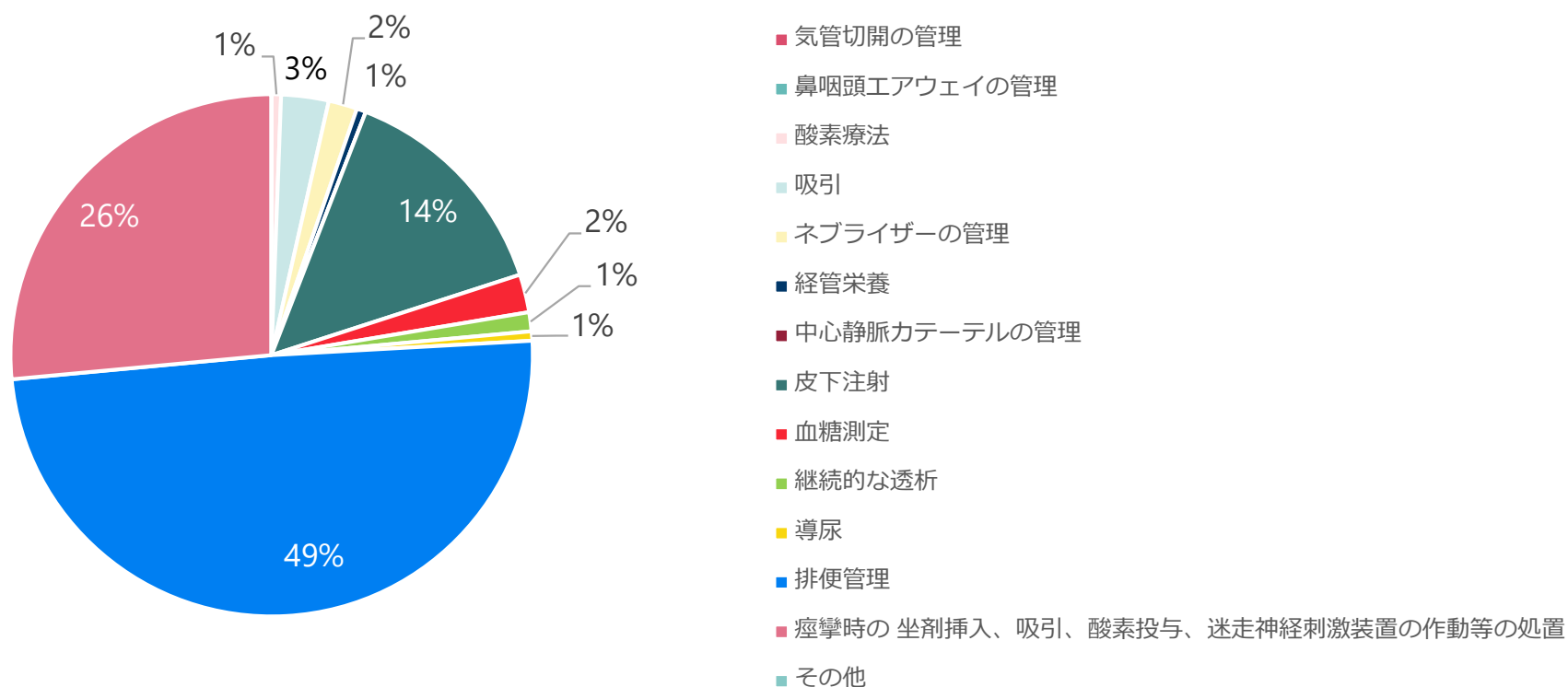
7. 医療的ケア児について【福祉型】

速報値

現状

- 福祉型の医療的ケアの内容は、排便管理、痙攣時の坐剤導入、吸引、酸素投与、迷走神経刺激装置の作動等の処置、皮下注射の順に多くなっている。

医療的ケアの実施状況



N=133人

出典:こども家庭庁支援局障害児支援課調べ(令和7年4月1日時点)

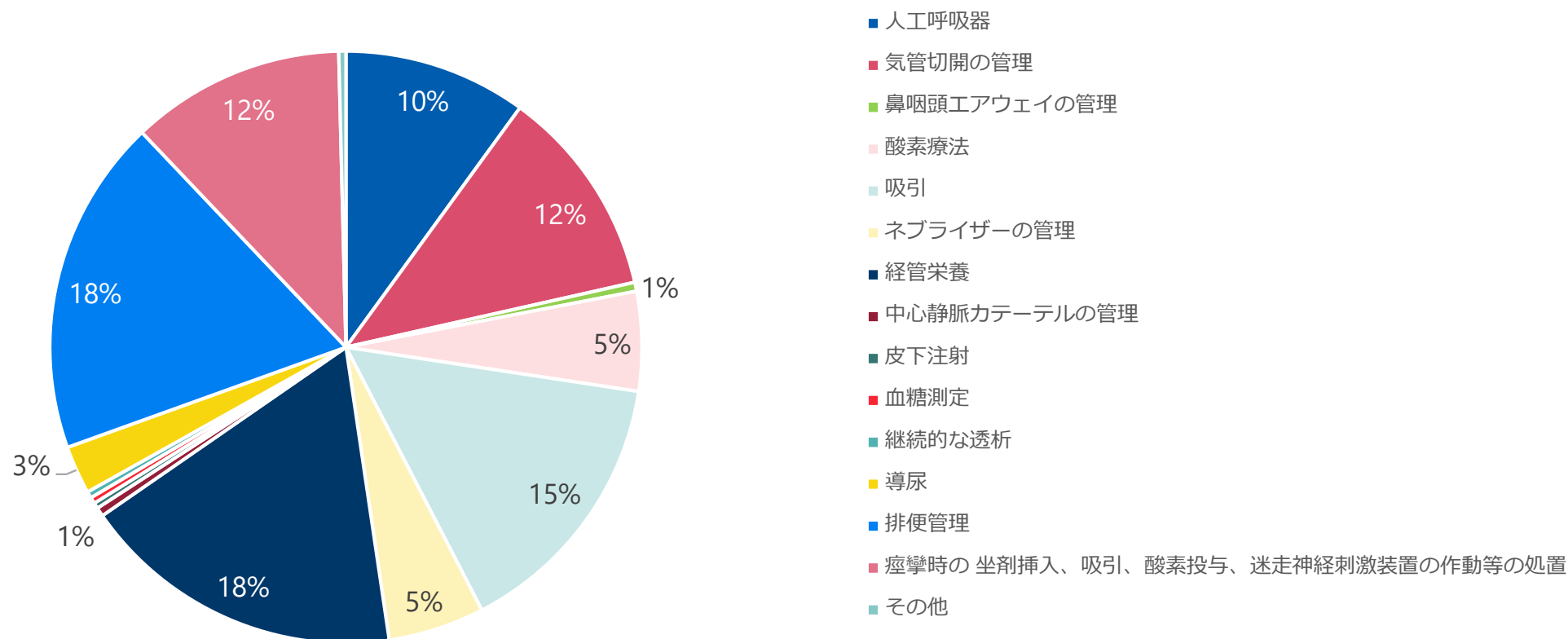
7. 医療的ケア児について【医療型】

速報値

現状

- 医療的ケアの内容は、排便管理、経管栄養が最も多く、吸引、痙攣時の坐剤導入、吸引、酸素投与、迷走神経刺激装置の作動等の処置、気管切開の管理、人工呼吸器の管理の順に割合が高くなっている。

医療的ケアの実施状況



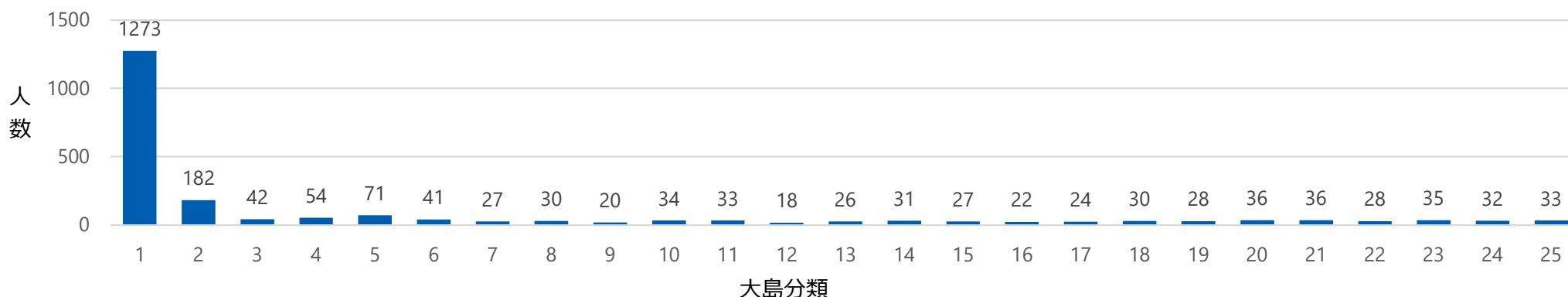
N = 1,561

出典:こども家庭庁支援局障害児支援課調べ(令和7年4月1日時点)

8. 大島分類による内訳【医療型】

速報値

医療型障害児入所施設（肢体不自由児・重症心身障害）における大島分類に基づく入所児童の内訳



出典:こども家庭庁支援局障害児支援課調べ(令和7年4月1日時点)

大島分類表

大島分類表					(IQ)
21	22	23	24	25	80
20	13	14	15	16	70
19	12	7	8	9	50
18	11	6	3	4	35
17	10	5	2	1	20
走れる	歩ける	歩行障害	すわれる	寝たきり	0

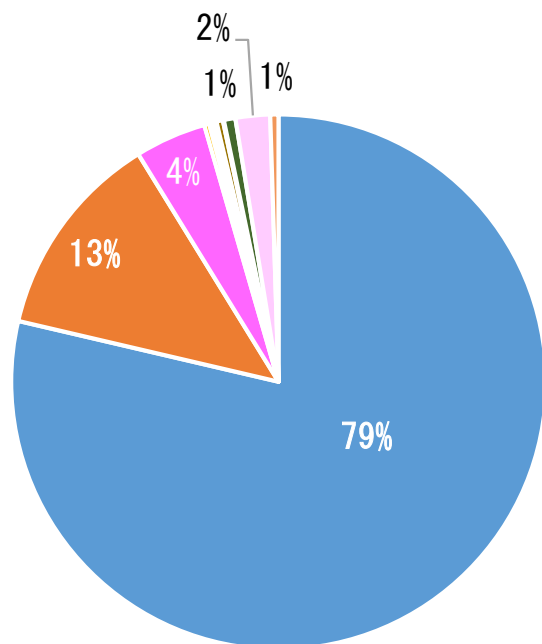
- 1 1～4の範囲に入るものが重症心身障害児(者)
- 2 5～9は重症心身障害児の定義には当てはまりにくい、
 - ① 絶えず医学的管理下に置くべきもの
 - ② 障害の状態が進行的と思われるもの
 - ③ 合併症のあるもの
 が多く、「周辺児」と呼ばれている。

※元東京都立府中療育センター院長大島一良博士により考案された判定方法

9. 入所児童の主たる障害種別【福祉型】

速報値

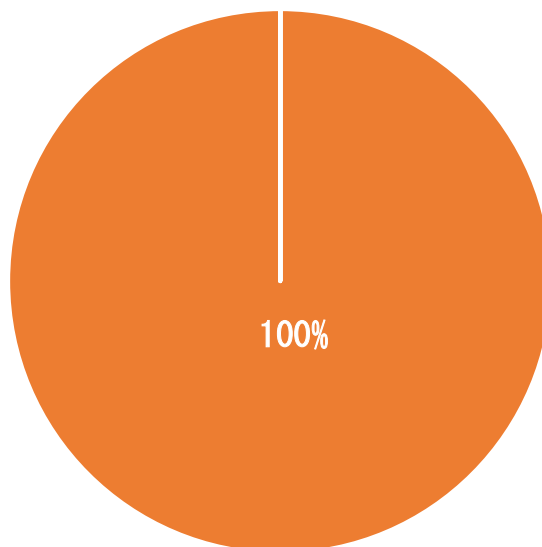
福祉型（知的）



- 知的障害
- 自閉スペクトラム症
- 注意欠如多動性障害（ADHD）
- 反応性アタッチメント障害
- 重症心身障害
- 肢体不自由
- 高次脳機能障害
- 聴覚障害
- 言語障害
- 視覚障害
- 学習障害
- てんかん
- その他
- 不明

N=4,623

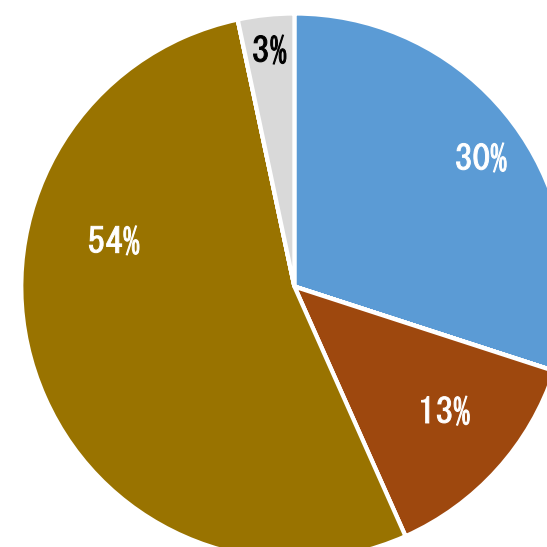
福祉型（自閉）



- 知的障害
- 自閉スペクトラム症
- 注意欠如多動性障害（ADHD）
- 反応性アタッチメント障害
- 重症心身障害
- 肢体不自由
- 高次脳機能障害
- 聴覚障害
- 言語障害
- 視覚障害
- 学習障害
- てんかん
- その他
- 不明

N=38

福祉型（盲）



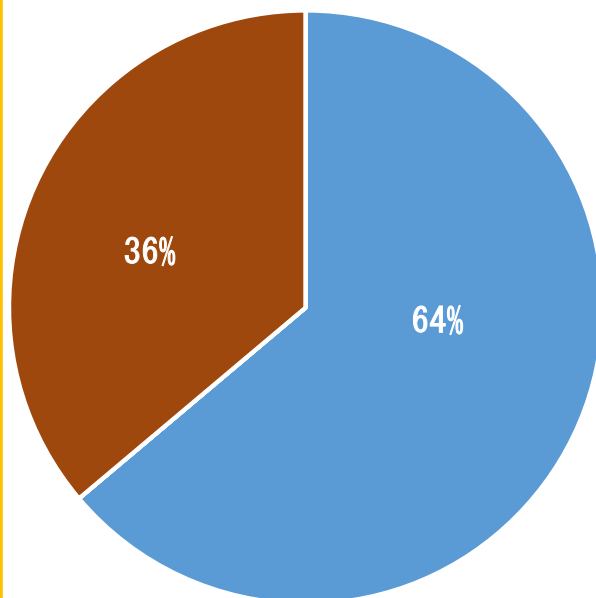
- 知的障害
- 自閉スペクトラム症
- 注意欠如多動性障害（ADHD）
- 反応性アタッチメント障害
- 重症心身障害
- 肢体不自由
- 高次脳機能障害
- 聴覚障害
- 言語障害
- 視覚障害
- 学習障害
- てんかん
- その他
- 不明

N=30

9. 入所児童の主たる障害種別【福祉型】（続き）

速報値

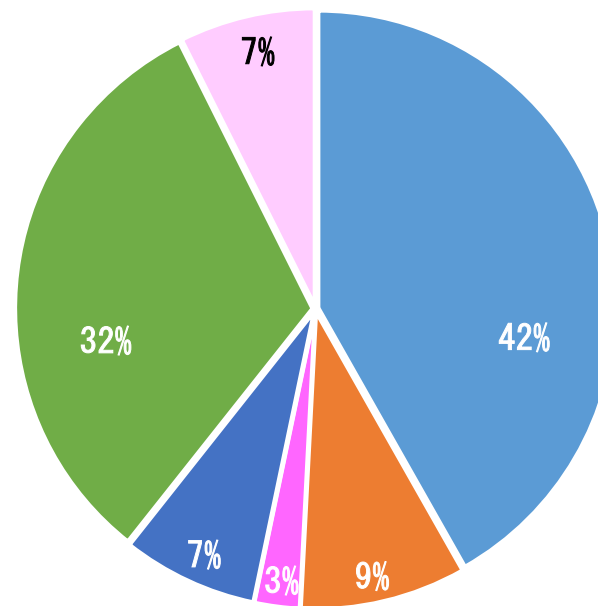
福祉型（ろうあ）



- 知的障害
- 自閉スペクトラム症
- 注意欠如多動性障害（ADHD）
- 反応性アタッチメント障害
- 重症心身障害
- 肢体不自由
- 高次脳機能障害
- 聴覚障害
- 言語障害
- 視覚障害
- 学習障害
- てんかん
- その他
- 不明

N=83

福祉型（肢体）



- 知的障害
- 自閉スペクトラム症
- 注意欠如多動性障害（ADHD）
- 反応性アタッチメント障害
- 重症心身障害
- 肢体不自由
- 高次脳機能障害
- 聴覚障害
- 言語障害
- 視覚障害
- 学習障害
- てんかん
- その他
- 不明

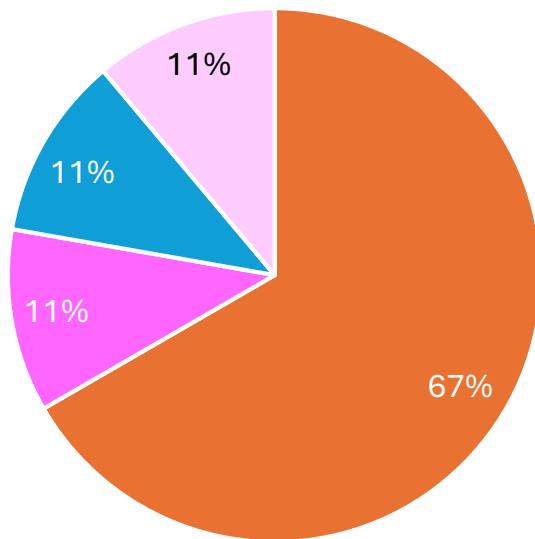
N=114

出典：こども家庭庁支援局障害児支援課調べ（令和7年4月1日時点）

9. 入所児童の主たる障害種別【医療型】

速報値

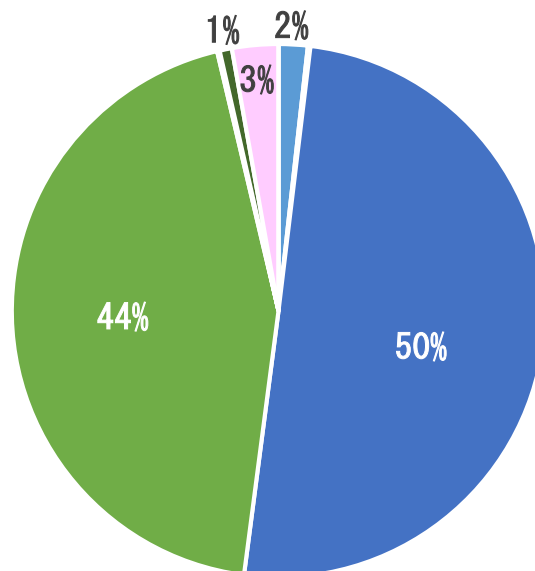
医療型（自閉）



- 知的障害
- 自閉スペクトラム症
- 注意欠如多動性障害（ADHD）
- 反応性アタッチメント障害
- 重症心身障害
- 肢体不自由
- 高次脳機能障害
- 聴覚障害
- 言語障害
- 視覚障害
- 学習障害
- てんかん
- その他
- 不明

N=13

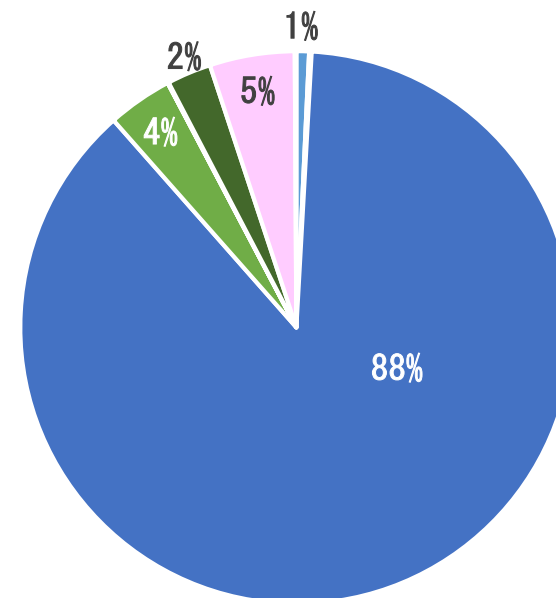
医療型（肢体）



- 知的障害
- 自閉スペクトラム症
- 注意欠如多動性障害（ADHD）
- 反応性アタッチメント障害
- 重症心身障害
- 肢体不自由
- 高次脳機能障害
- 聴覚障害
- 言語障害
- 視覚障害
- 学習障害
- てんかん
- その他
- 不明

N=614

医療型（重心）



- 知的障害
- 自閉スペクトラム症
- 注意欠如多動性障害（ADHD）
- 反応性アタッチメント障害
- 重症心身障害
- 肢体不自由
- 高次脳機能障害
- 聴覚障害
- 言語障害
- 視覚障害
- 学習障害
- てんかん
- その他
- 不明

N=1,454

10. 入所児童の重複する障害【福祉型】

速報値

主たる障害 \ 従たる障害	知的障害	自閉スペクトラム症	注意欠如多動性障害 ADHD	反応性愛着障害	重症心身障害	肢体不自由	高次脳機能障害	聴覚障害	言語障害	視覚障害	学習障害	てんかん	統合失調症	鬱病	適応障害	その他
知的障害		1318	456	139	13	66	4	23	10	17	29	252	8	2	5	181
自閉スペクトラム症	244		71	7	1	1	0	4	2	0	0	17	0	0	1	16
注意欠如多動性障害 (ADHD)	56	28		8	0	1	0	0	0	1	1	6	0	1	0	9
反応性アタッチメント障害	12	7	5		0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
重症心身障害	14	1	4	0		0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0
肢体不自由	41	2	2	0	0		0	0	2	2	0	13	0	0	0	4
高次脳機能障害	2	0	2	0	0	0		1	0	0	0	1	0	0	0	0
聴覚障害	15	3	3	1	0	1	0		0	0	0	1	0	0	0	4
言語障害	3	1	0	0	0	1	0	0		0	0	0	0	0	0	0
視覚障害	26	1	0	0	0	1	0	0	3		0	7	0	0	0	0
学習障害	3	0	2	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0
てんかん	25	15	1	2	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	2
その他	45	8	4	2	0	0	0	2	1	1	0	1	0	0	0	4
不明	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6

出典:こども家庭庁支援局障害児支援課調べ(令和7年4月1日時点)

N=4,623人

10. 入所児童の重複する障害【医療型】

速報値

従たる障害 主たる障害	知的 障害	自閉ス ペクトラ ム症	注意欠 如多動 性障害 ADHD	反応性 愛着障 害	重症心 身障害	肢体不 自由	高次脳 機能障 害	聴覚 障害	言語 障害	視覚 障害	学習 障害	てん かん	統合失 調症	鬱病	適応 障害	その他
知的障害		8	0	0	74	44	1	0	0	0	1	9	0	0	0	2
自閉スペクトラム症	6		1	0	1	2	0	1	1	0	1	2	0	0	1	0
注意欠如多動性障害 (ADHD)	2	1		0	0	1	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0
反応性アタッチメント障害	0	0	1		0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
重症心身障害	392	11	1	0		273	2	37	172	77	38	562	1	6	4	95
肢体不自由	172	13	8	0	51		2	8	17	3	0	66	1	0	0	17
高次脳機能障害	2	0	0	0	5	0		0	0	1	0	0	0	0	0	0
聴覚障害	0	0	0	0	2	3	0		0	0	0	0	0	0	0	0
言語障害	0	0	0	0	22	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0
視覚障害	0	0	0	0	12	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0
学習障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0
てんかん	11	0	2	0	111	8	1	3	0	0	0		0	0	1	16
その他	21	1	2	1	3	7	0	0	2	0	2	9	0	0	0	17
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

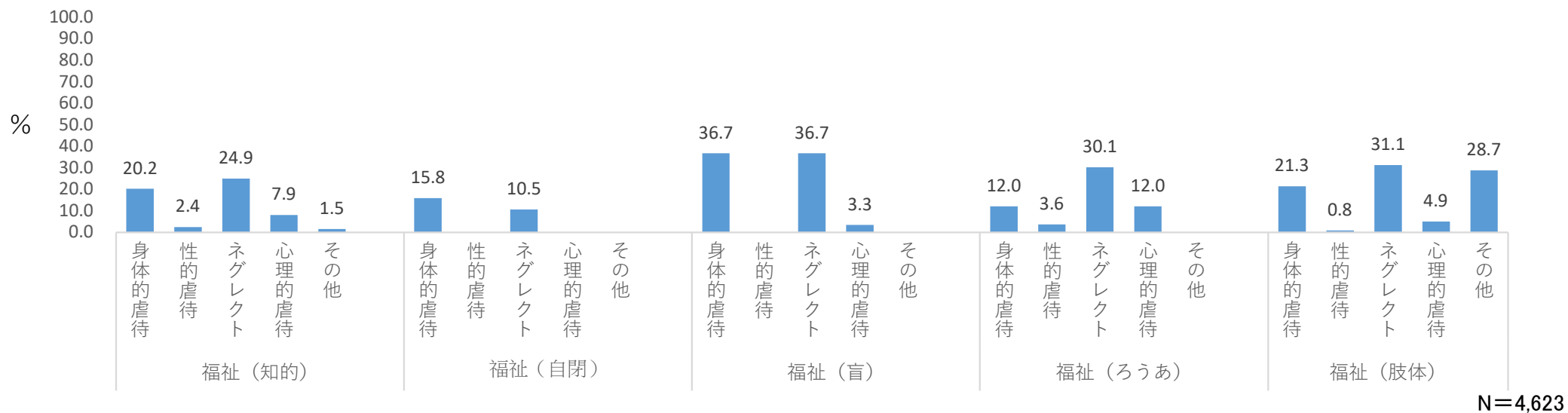
出典:こども家庭庁支援局障害児支援課調べ(令和7年4月1日時点)

N=2,128

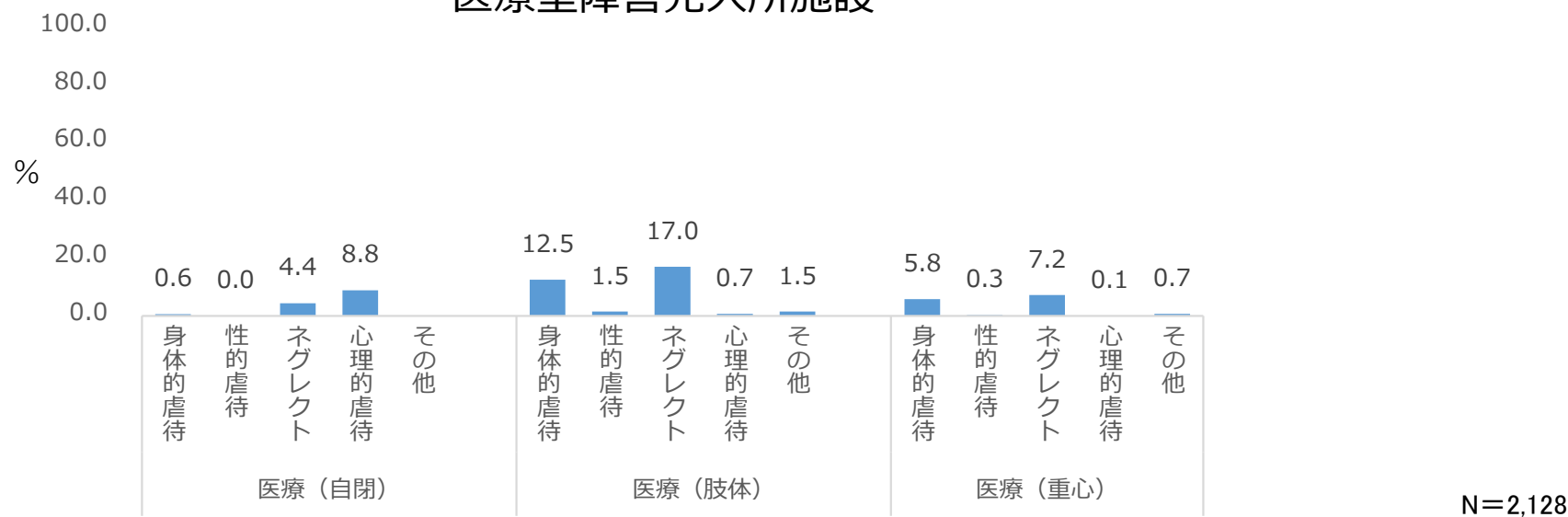
1 1 . 被虐待児の虐待経験の種類

速報値

福祉型障害児入所施設



医療型障害児入所施設

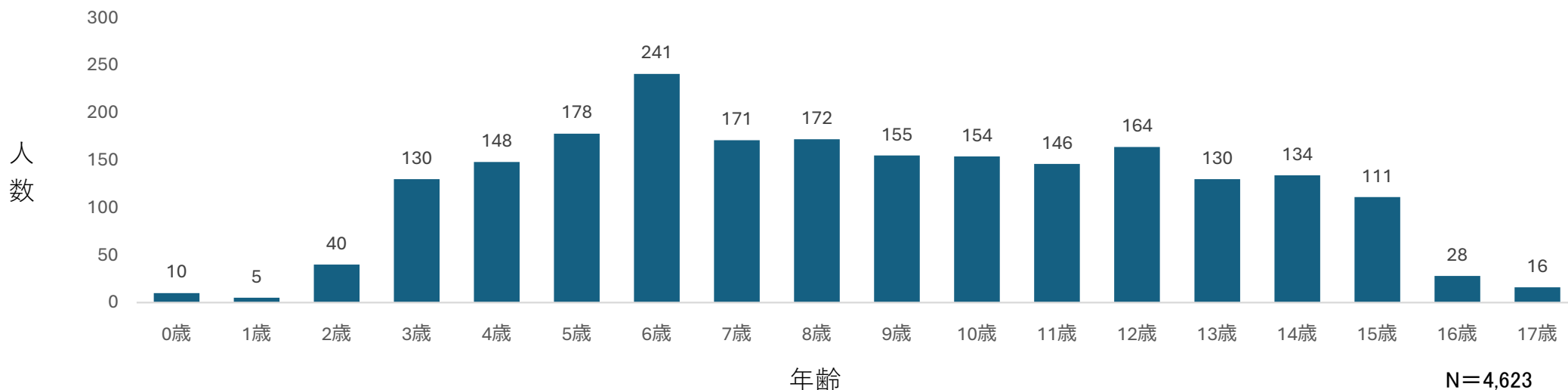


出典:こども家庭庁支援局障害児支援課調べ(令和7年4月1日時点)

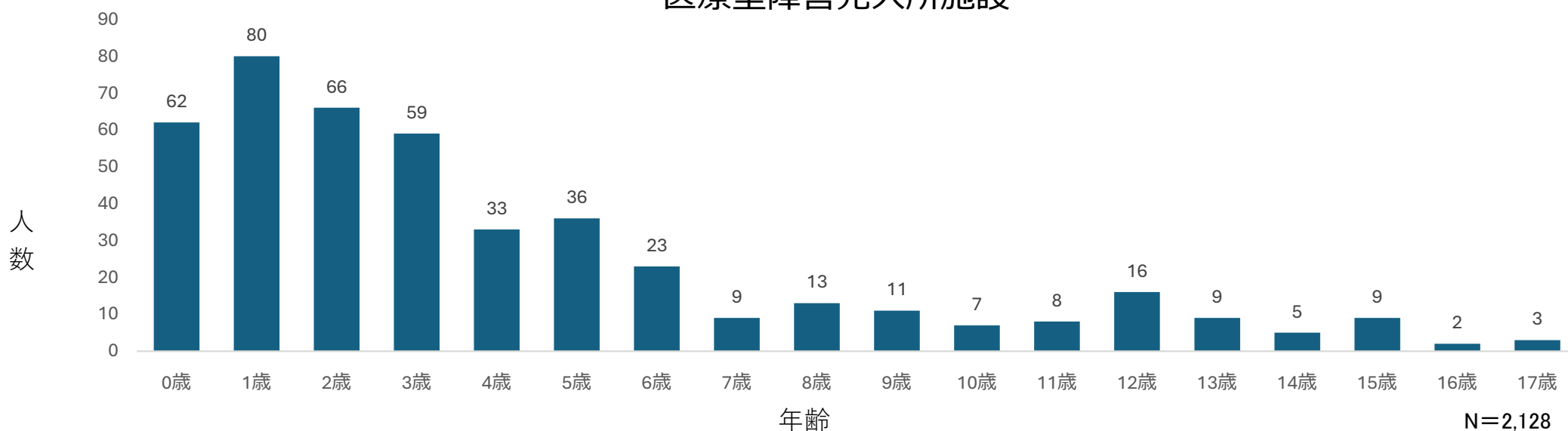
12. 被虐待児の入所時の年齢

速報値

福祉型障害児入所施設



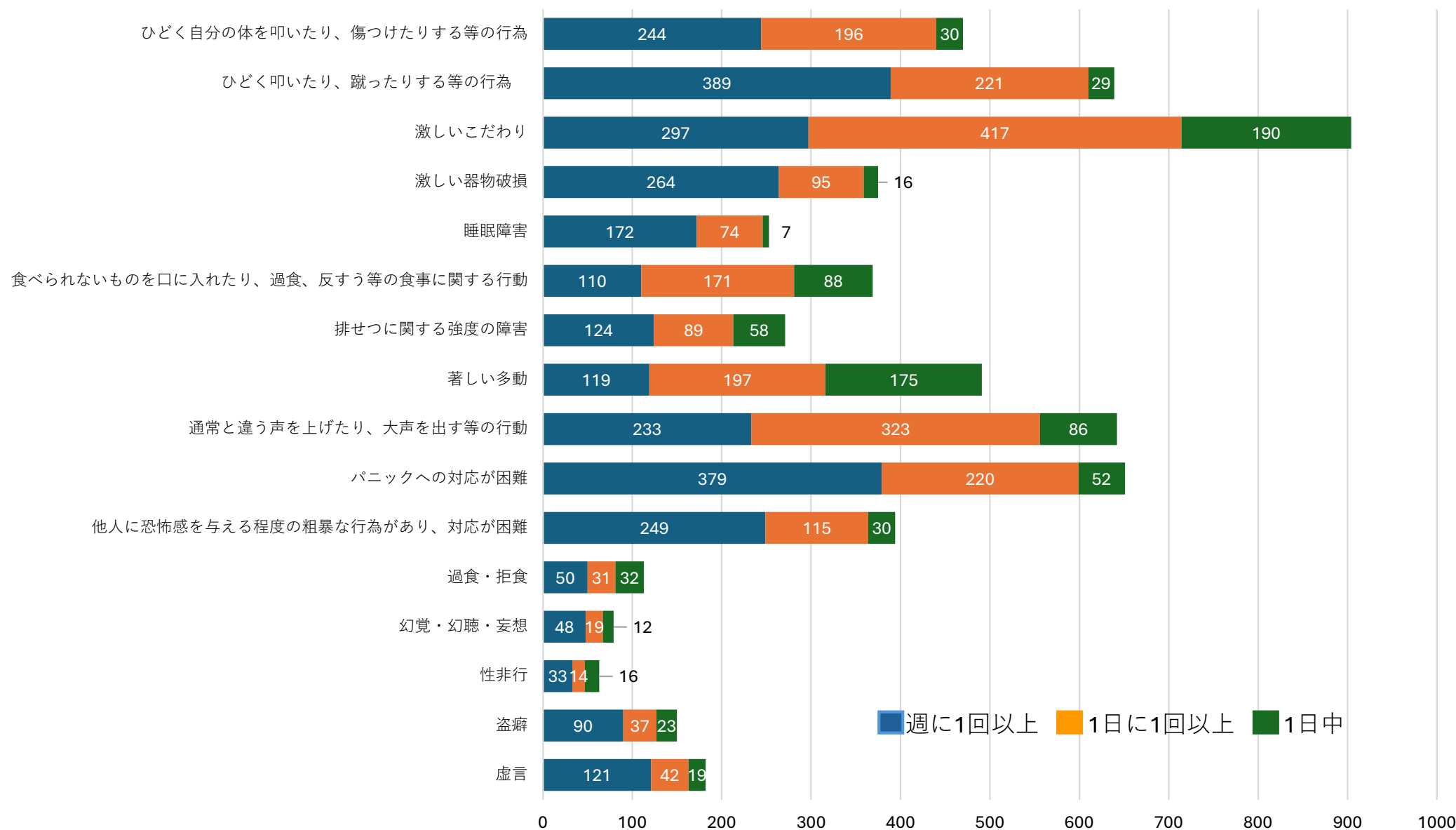
医療型障害児入所施設



出典:こども家庭庁支援局障害児支援課調べ(令和7年4月1日時点)

13. 入所児童で特に支援が必要な行動と頻度別児童数【福祉型】

速報値

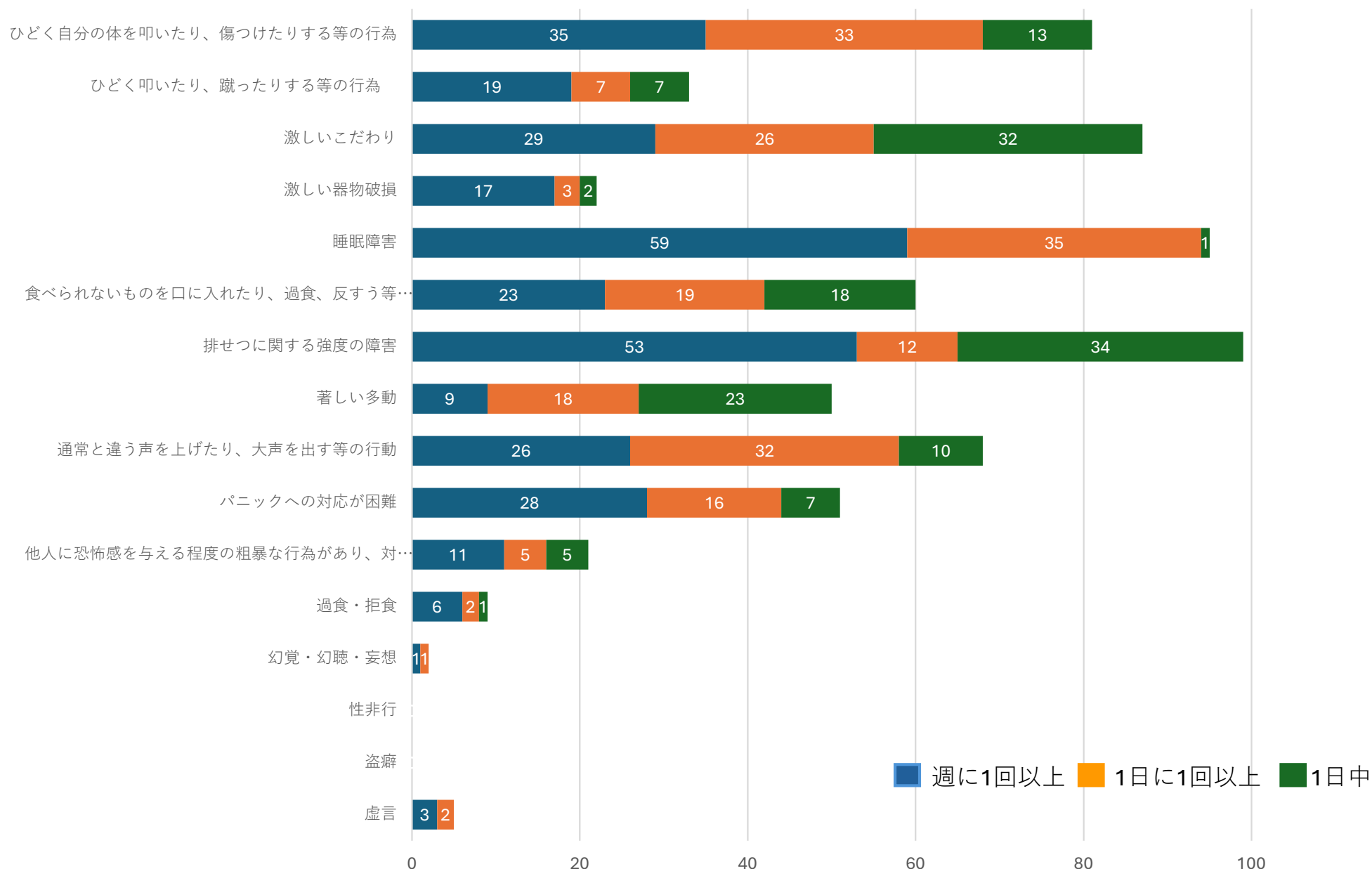


N=4,623

出典:こども家庭庁支援局障害児支援課調べ(令和7年4月1日時点)

13. 入所児童で特に支援が必要な行動と頻度別児童数【医療型】

速報値

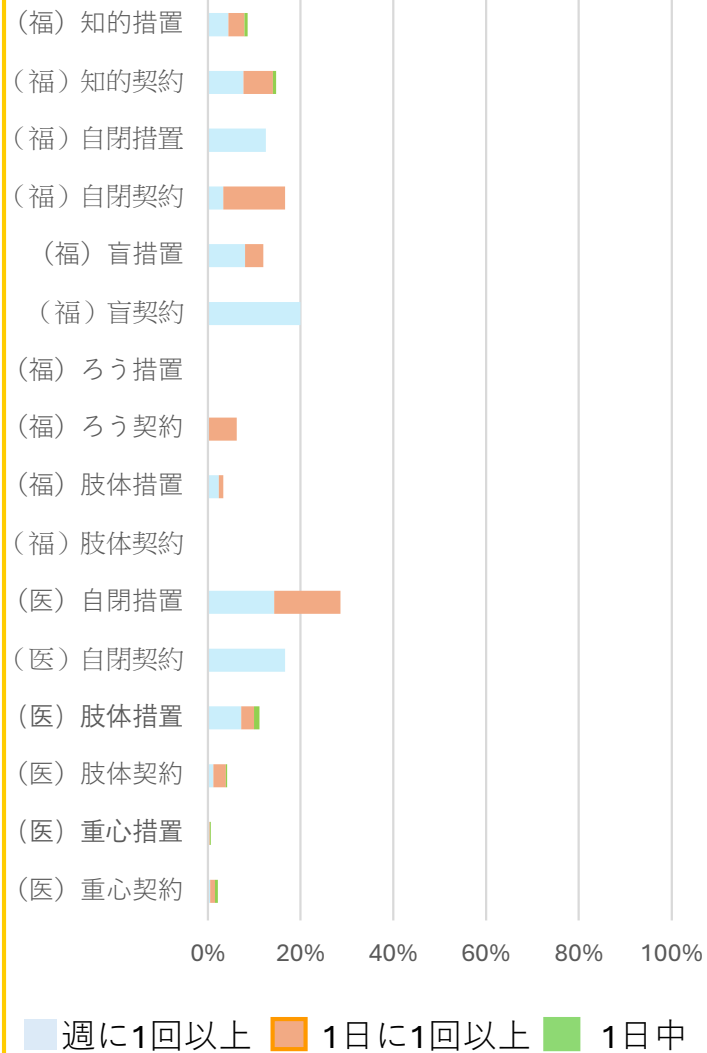


N=2,128

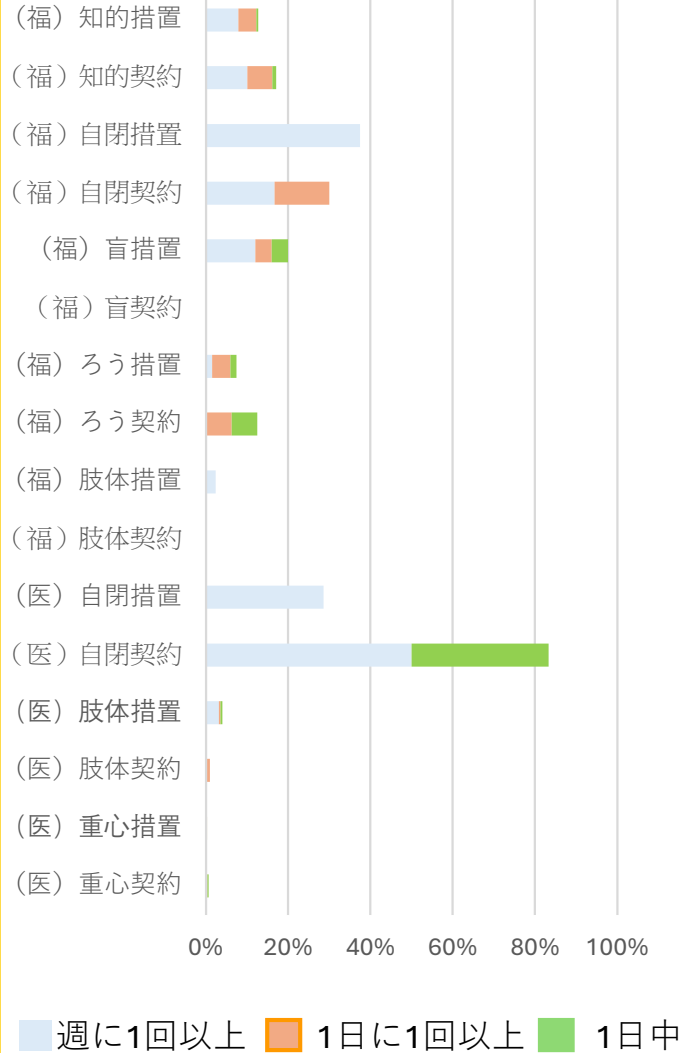
出典:こども家庭庁支援局障害児支援課調べ(令和7年7月1日時点)

13. 入所児童で特に支援が必要な行動と頻度別児童数【詳細】

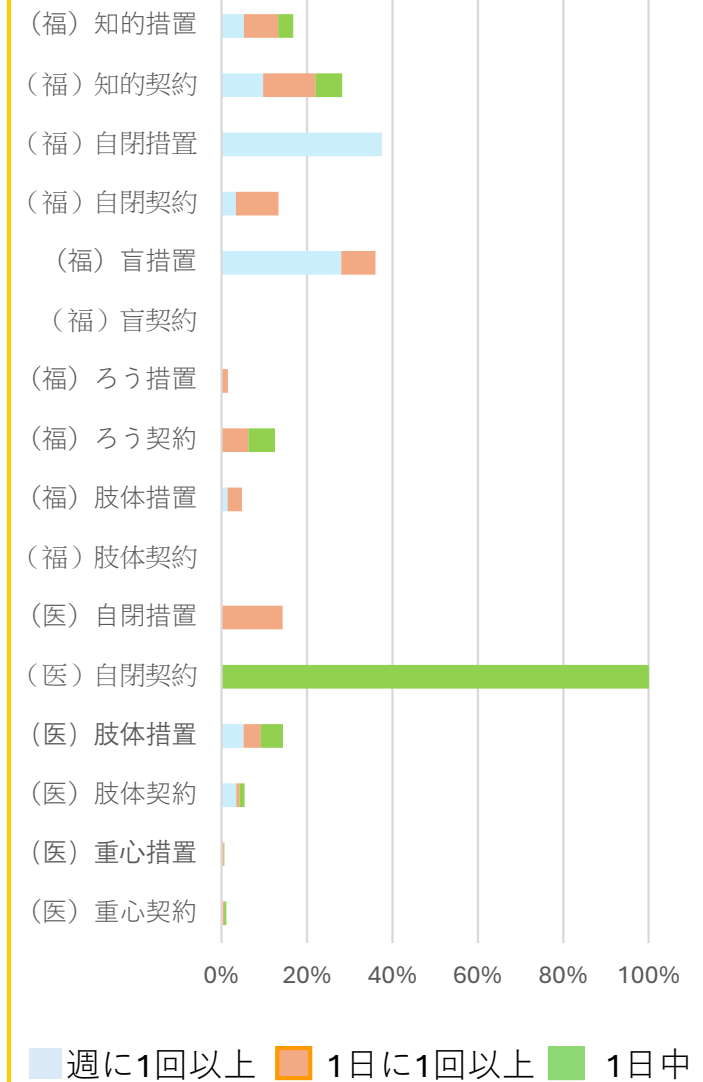
①ひどく自分の体を叩いたり傷つけたりする等の行為



②ひどく叩いたり、蹴ったりする等の行為



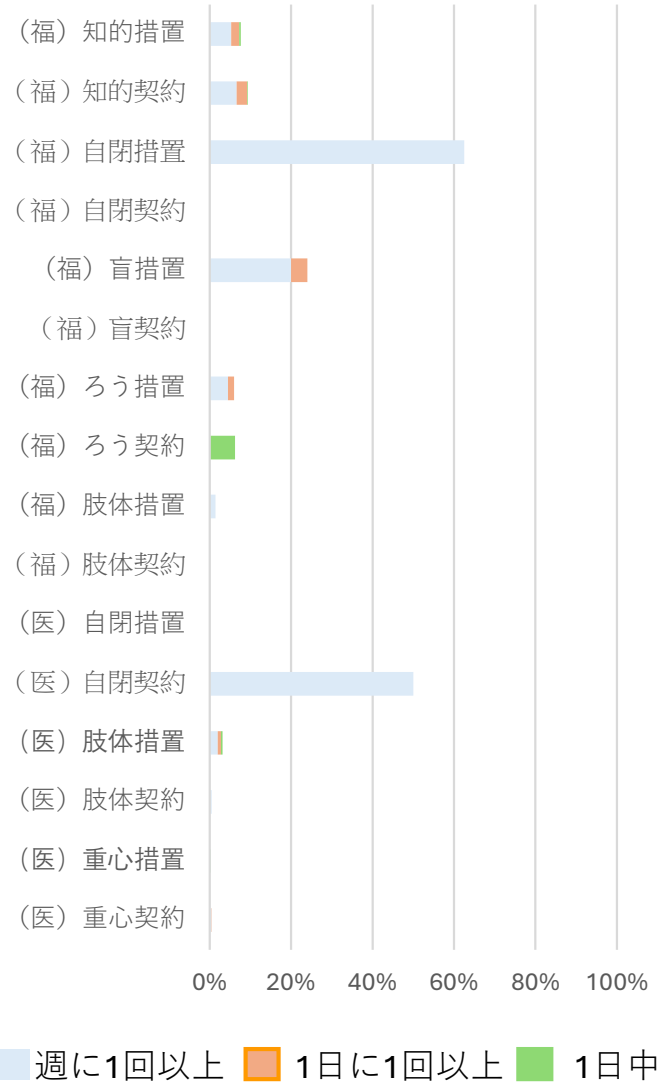
③激しいこだわり



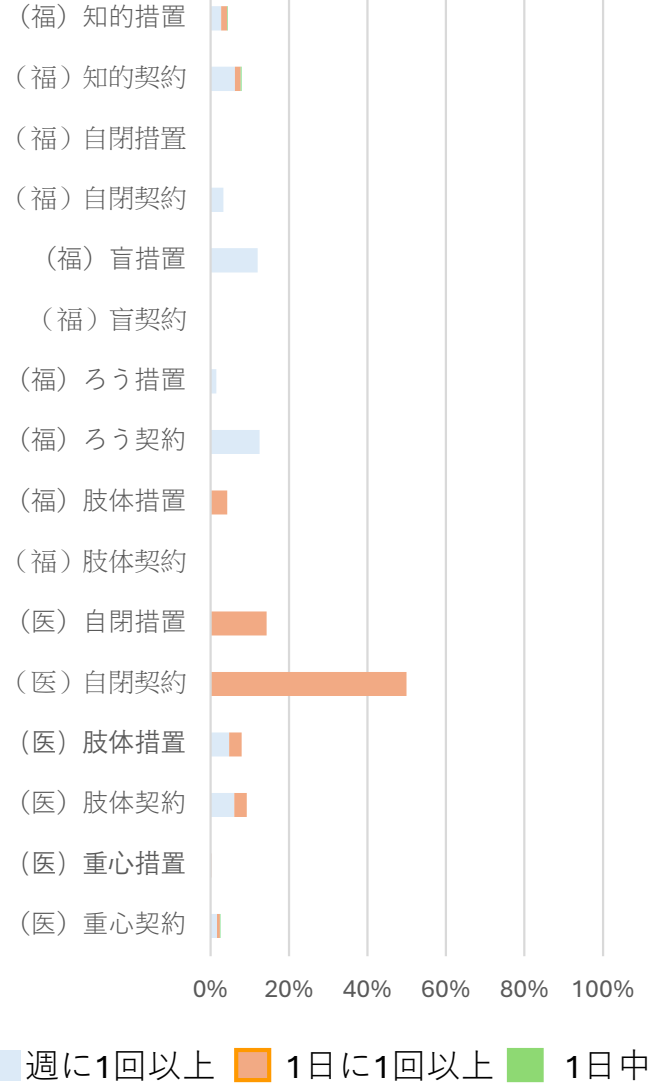
出典:こども家庭庁支援局障害児支援課調べ(令和7年4月1日時点)

13. 入所児童で特に支援が必要な行動と頻度別児童数【詳細】（続き）

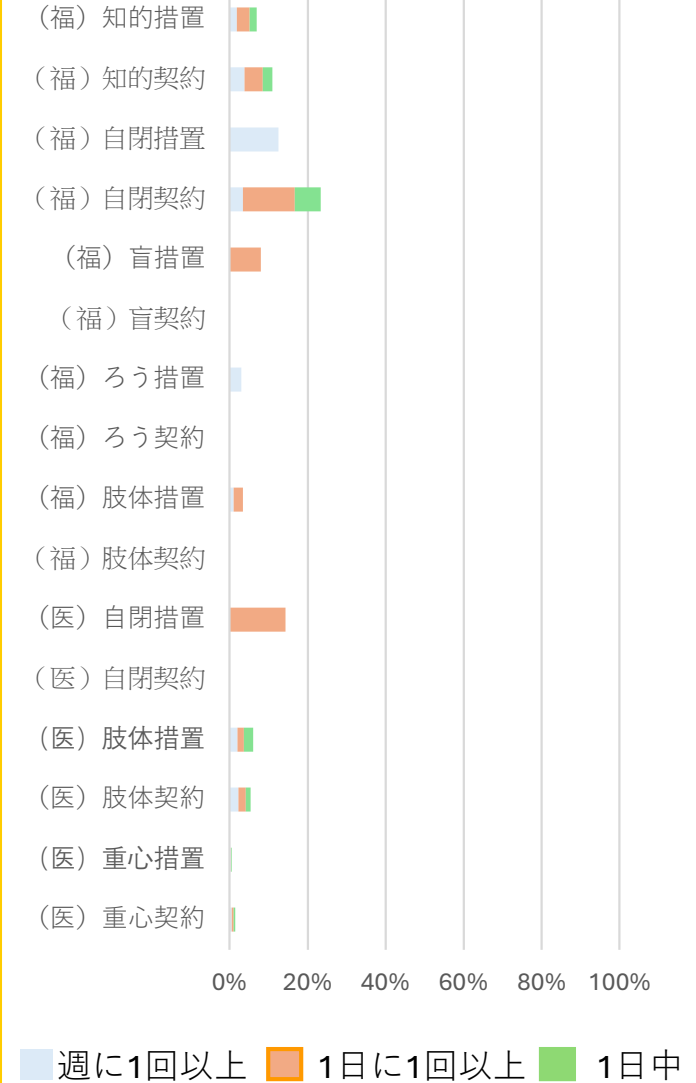
④ 激しい器物破損



⑤ 睡眠障害



⑥ 食べられないものを口に入れたり、過食、反すう等の食事に関する行動



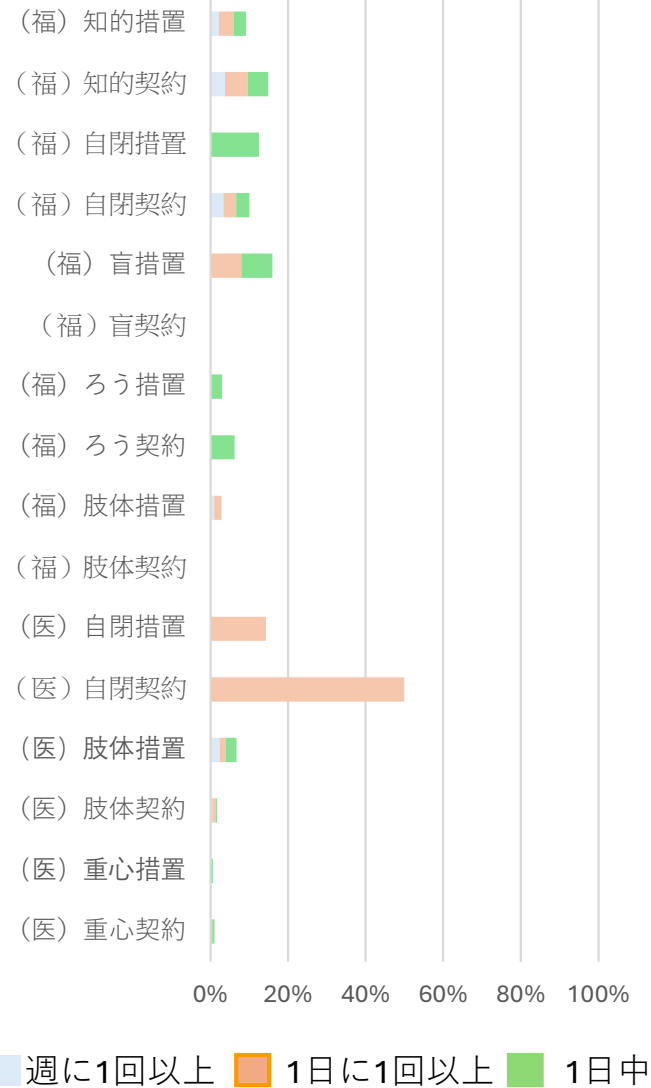
出典:こども家庭庁支援局障害児支援課調べ(令和7年4月1日時点)

13. 入所児童で特に支援が必要な行動と頻度別児童数【詳細】（続き）

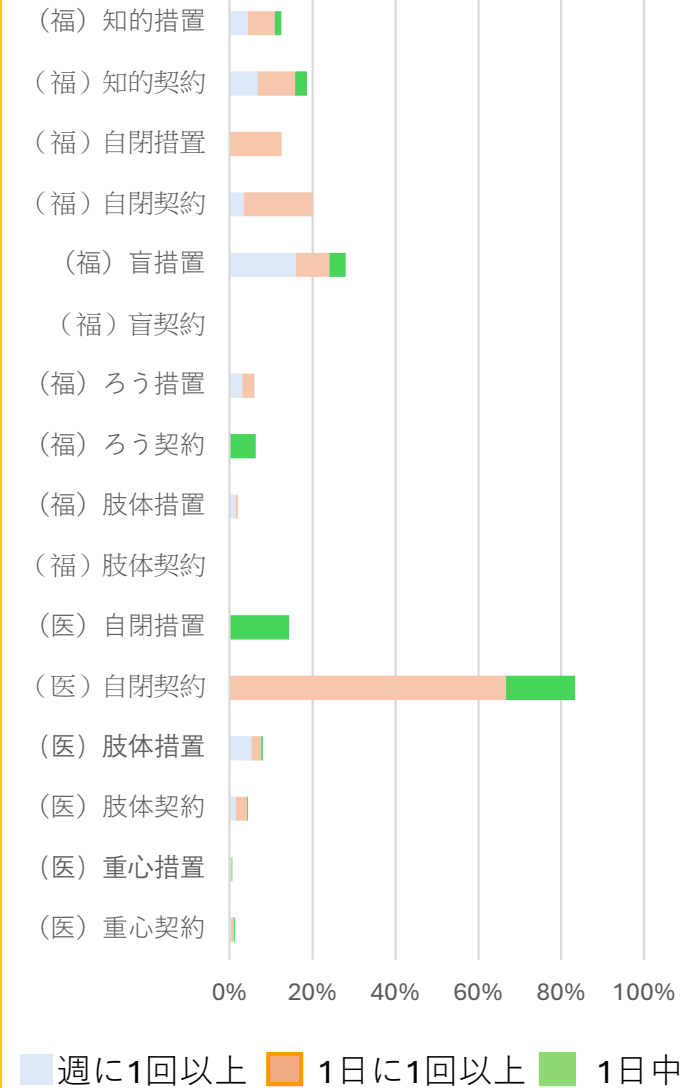
⑦排せつに関する強度の障害



⑧著しい多動



⑨通常と違う声を上げたり、大声を出す等の行動

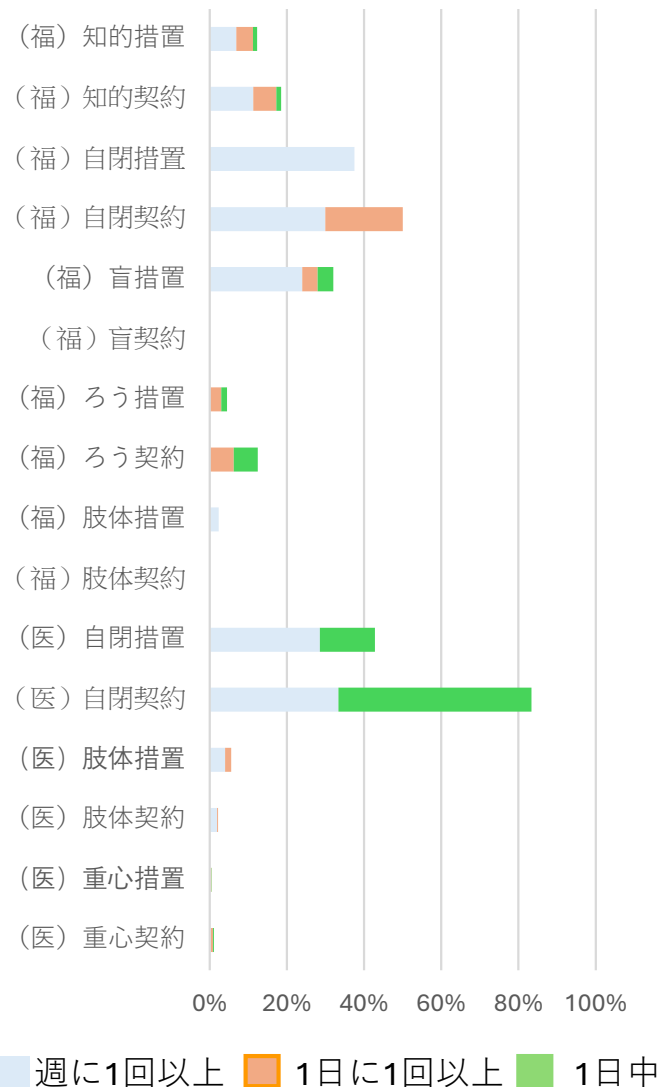


出典: こども家庭庁支援局障害児支援課調べ(令和7年4月1日時点)

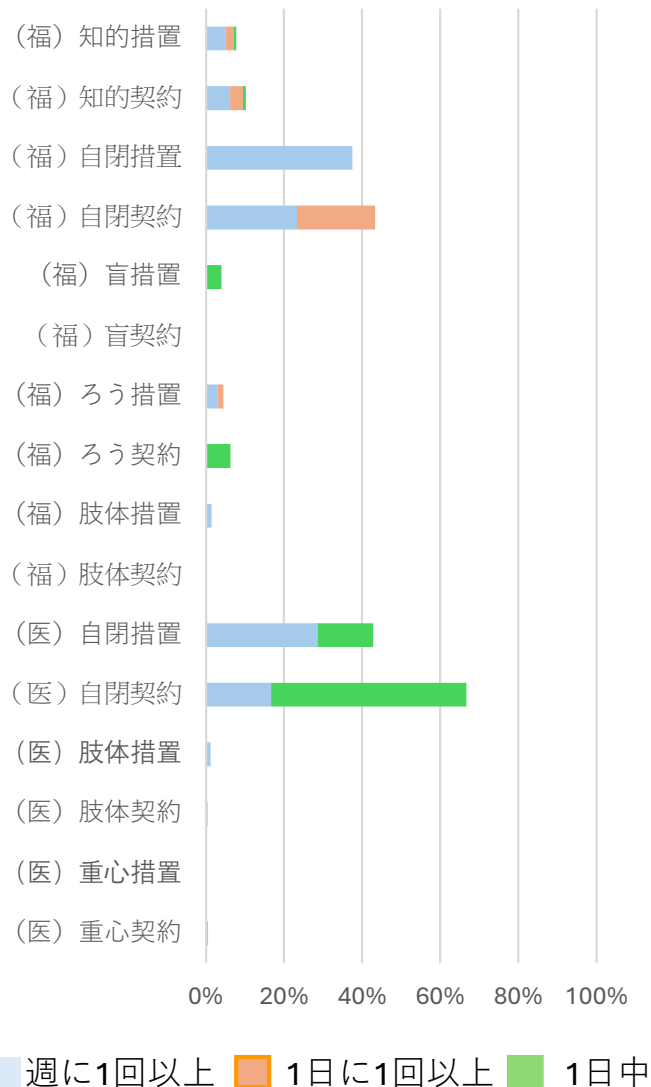
13. 入所児童で特に支援が必要な行動と頻度別児童数【詳細】（続き）

速報値

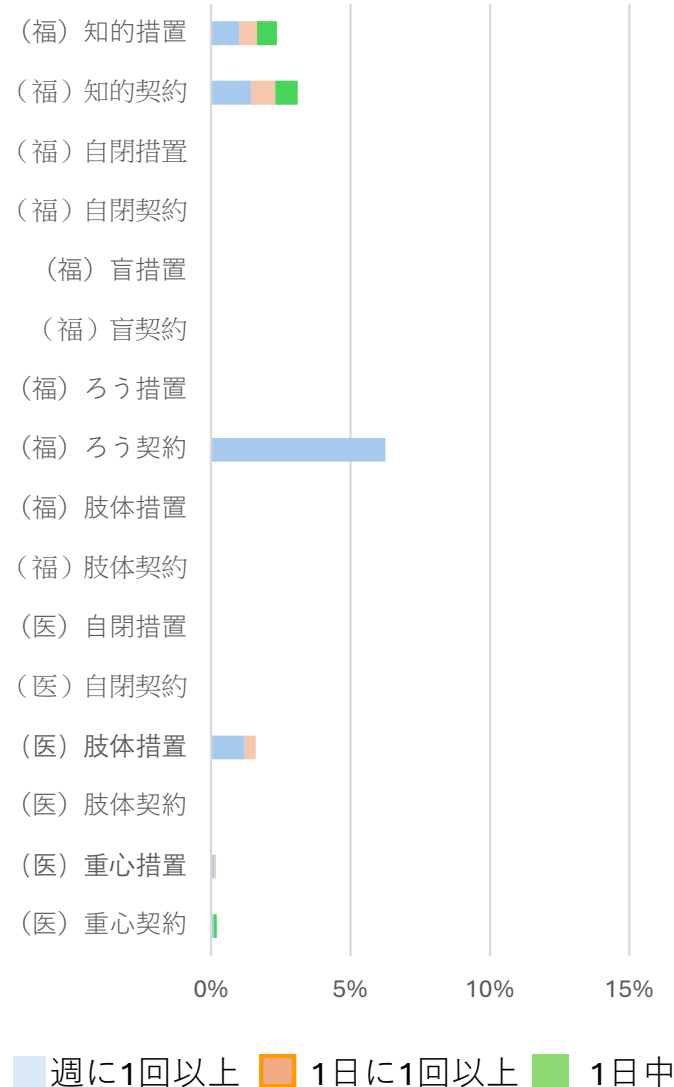
⑩パニックへの対応困難



⑪他人に恐怖感を与える程度の粗暴な行為があり、対応が困難



⑫過食・拒食



出典: こども家庭庁支援局障害児支援課調べ(令和7年4月1日時点)

13. 入所児童で特に支援が必要な行動と頻度別児童数【詳細】

速報値

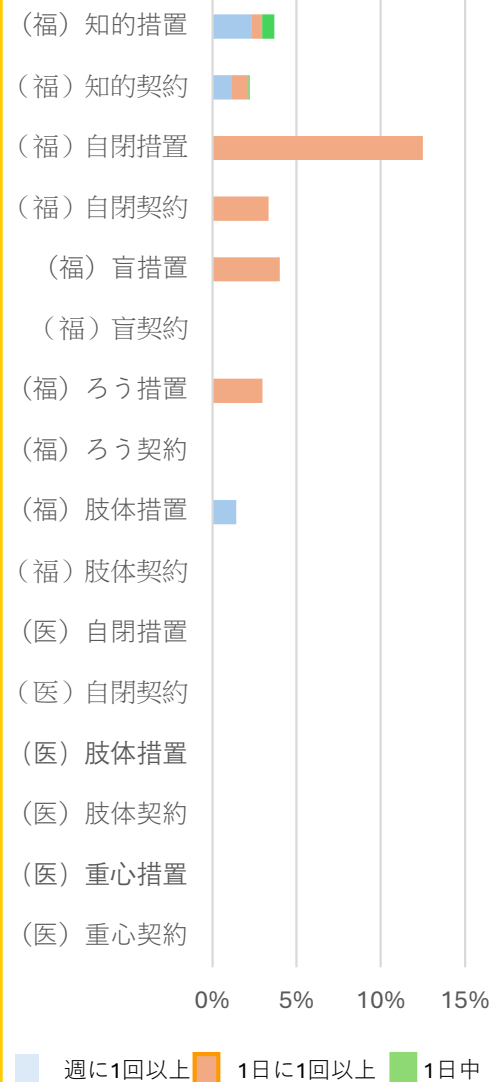
⑬ 幻覚・幻聴・妄想



⑭ 性非行



⑮ 盗癖



⑯ 虚言



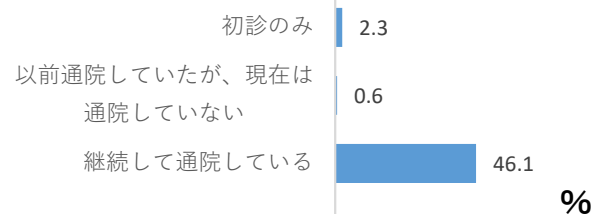
出典:こども家庭庁支援局障害児支援課調べ(令和7年4月1日時点)

1 4 . 入所児童で心理的なことを背景とした小児科、心療内科、児童精神科、精神科等の医療機関への通院、入院がある児童割合【福祉型】

速報値

福祉型（知的）

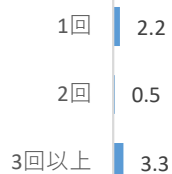
○ 通院



%

N=4,361

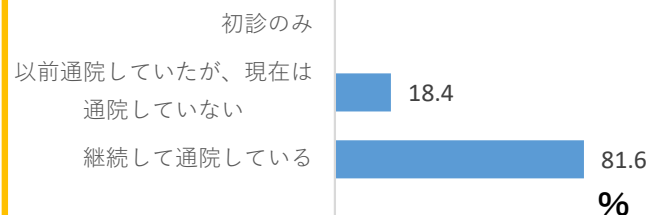
○ 入院



%

福祉型（自閉）

○ 通院



%

N=38

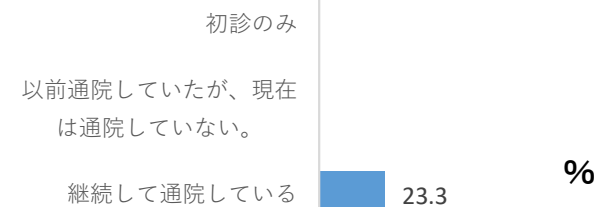
○ 入院



%

福祉型（盲）

○ 通院

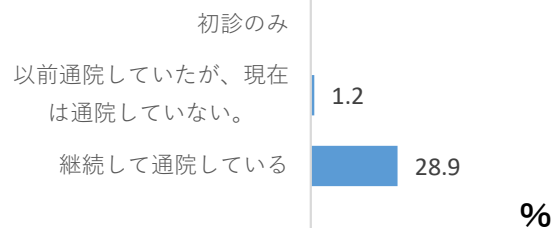


%

N=29

福祉型（ろうあ）

○ 通院



%

N=76

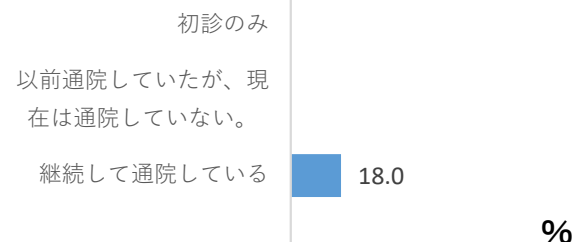
○ 入院



%

福祉型（肢体）

○ 通院



%

N=111

○ 入院

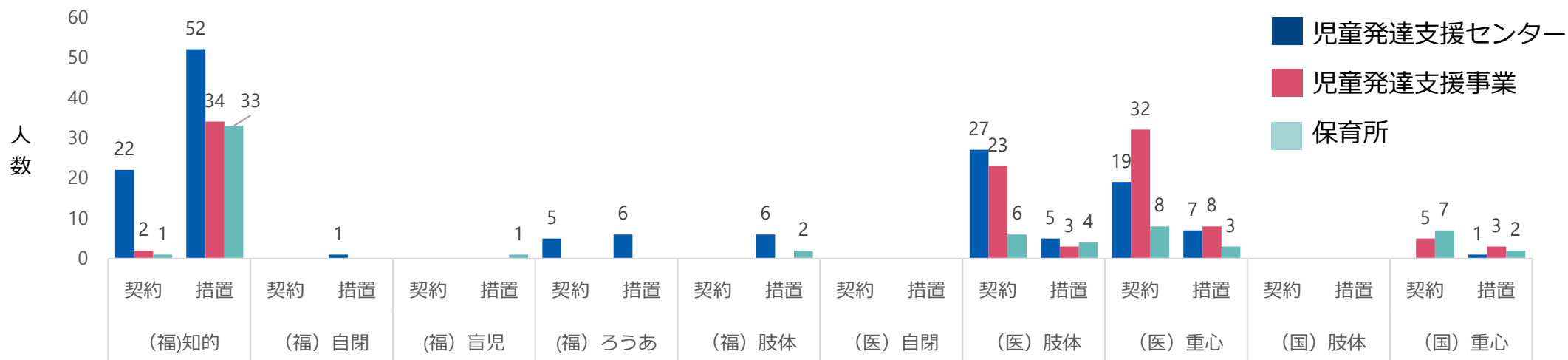


%

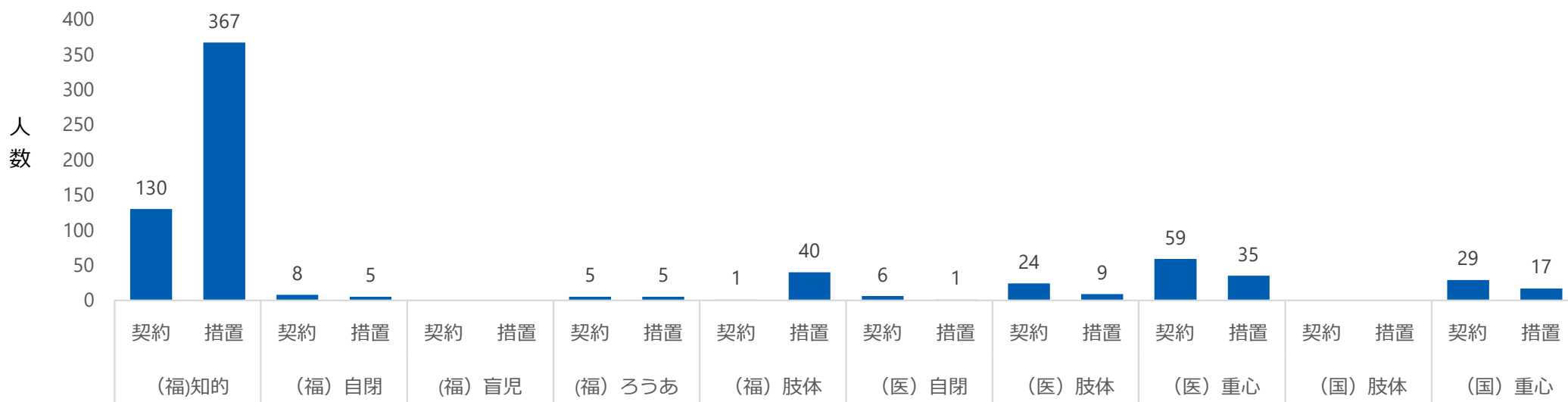
15. 障害児通所支援事業等の利用希望について

速報値

児童発達支援センター・児童発達支援事業・保育所



放課後等デイサービス



出典:こども家庭庁支援局障害児支援課調べ(令和7年4月1日時点)

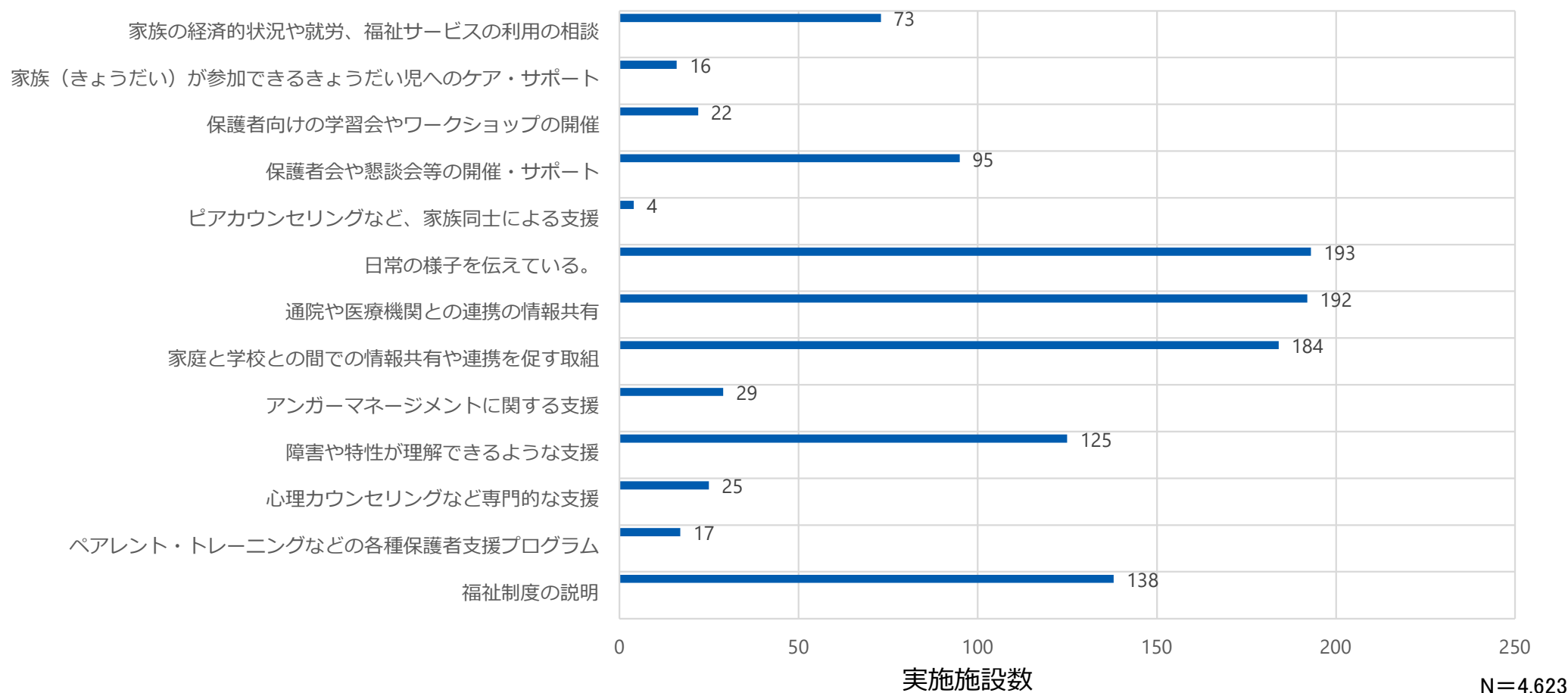
16. 家族支援に資する取組の有無【福祉型】

速報値

現状

- 福祉型では、日常の様子を伝えている、通院や医療機関との連携の情報提供、学校と家庭との間での情報提供や連携を促す取組についてを多くの施設が実施している。
- 一方、心理的な専門的な支援、ペアレント・トレーニング、ピアカウンセリング、きょうだい児へのサポートを実施している施設は少ない現状である。

福祉型障害児入所施設



出典:こども家庭庁支援局障害児支援課調べ(令和7年4月1日時点)

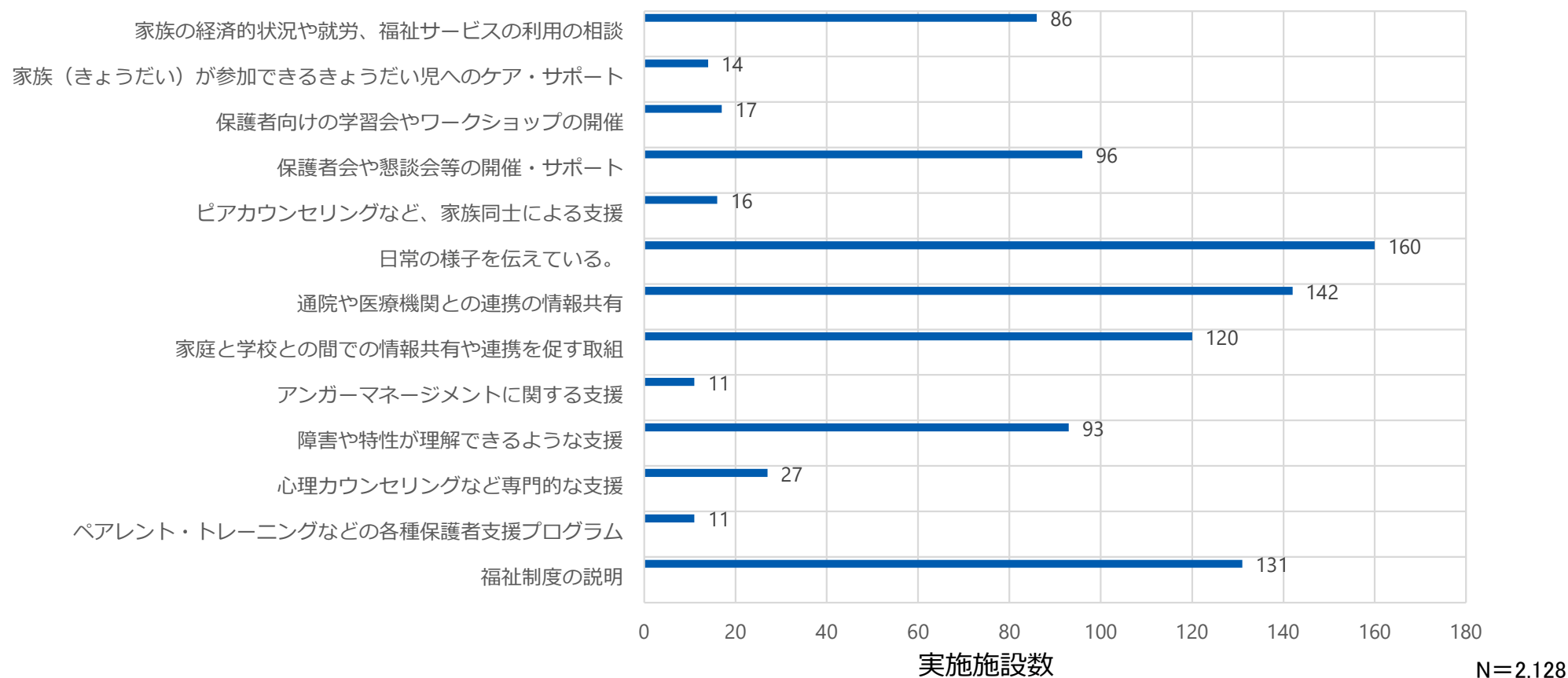
16. 家族支援に資する取組の有無【医療型】

速報値

現状

- 医療型では、日常の様子を伝えている、通院や医療機関との連携の情報提供、福祉制度の説明、学校と家庭との間での情報提供や連携を促す取組については多くの施設が実施している。
- 一方、ペアレント・トレーニング、ピアカウンセリング、きょうだい児へのサポートを実施している施設は少ない現状となっている。

医療型障害児入所施設

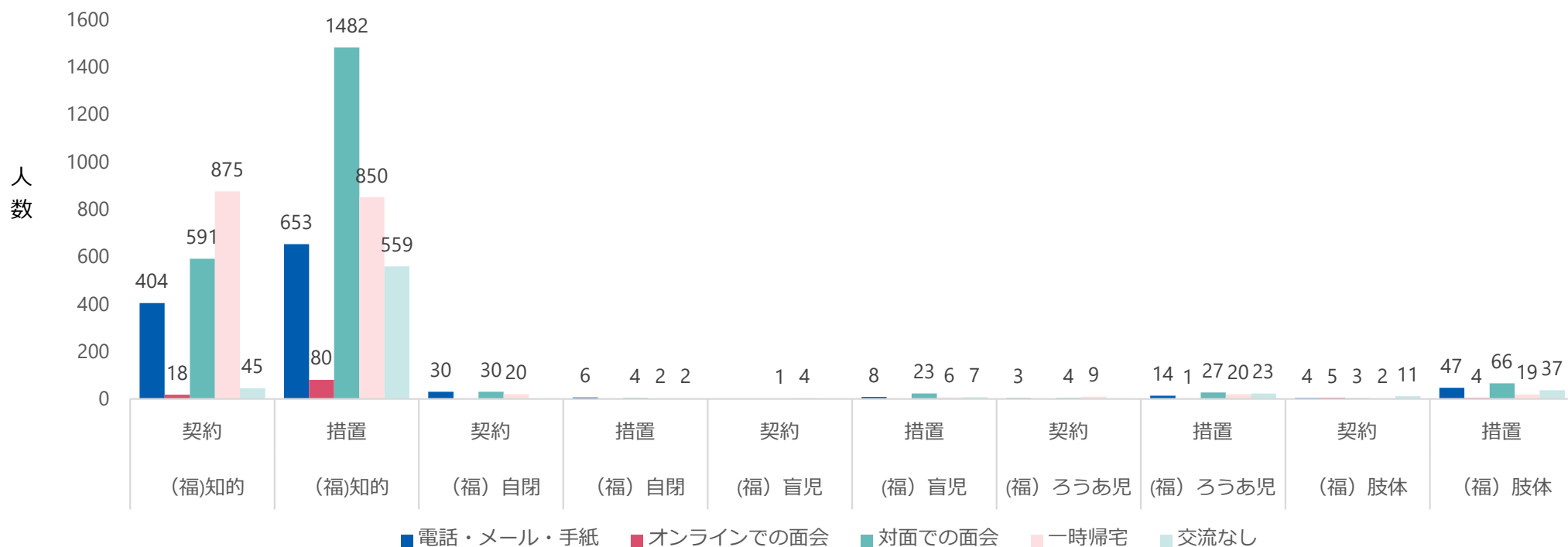


出典:こども家庭庁支援局障害児支援課調べ(令和7年4月1日時点)

17. 家族との面会・電話等の交流の取組における実施人数【福祉型】

速報値

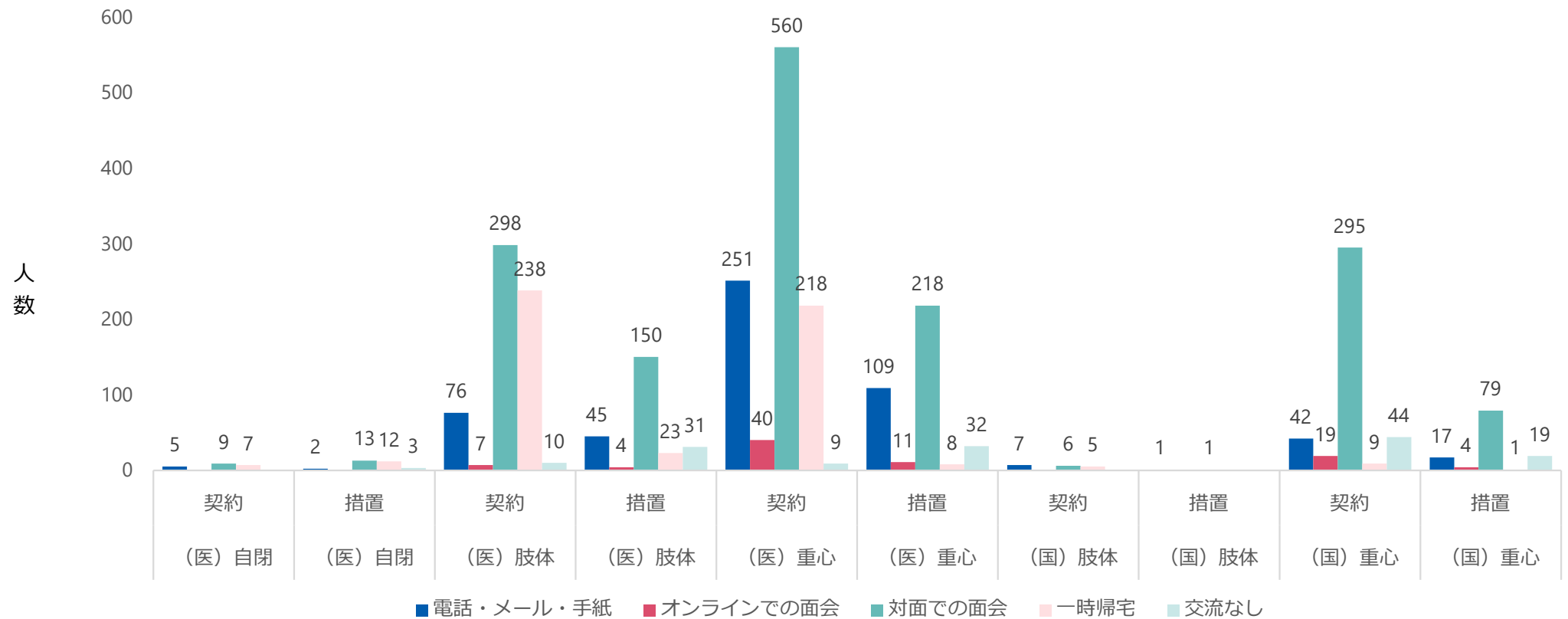
福祉型障害児入所施設



N=4,623

出典:こども家庭庁支援局障害児支援課調べ(令和7年4月1日時点)

医療型障害児入所施設



N=2,626

出典:こども家庭庁支援局障害児支援課調べ(令和7年4月1日時点)

18. 外泊が出来ない児童数とその理由

速報値

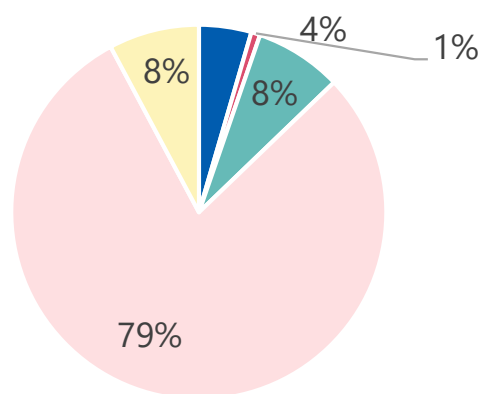
現状

○ 福祉型、医療型共に外泊できない理由として、家庭の事情で帰宅できない割合が多くなっている。

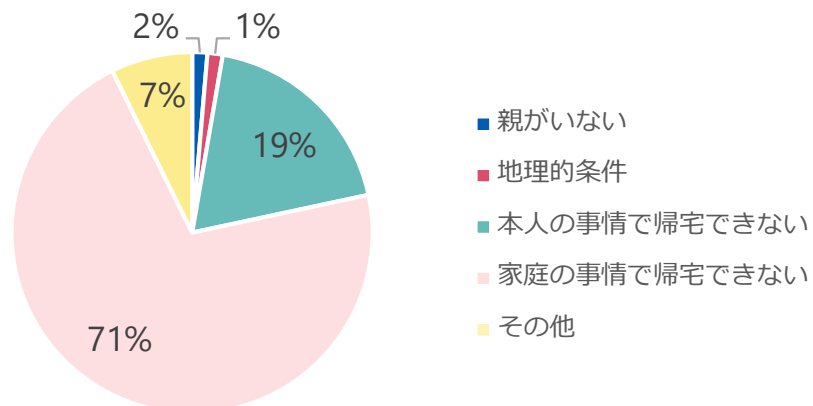
福祉型障害児入所施設

	措置	契約
外泊できない児童数	2217	432

外泊できない理由（措置）



外泊できない理由（契約）

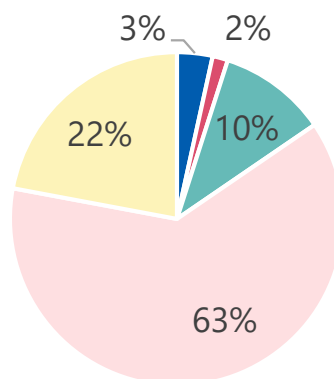


- 親がいない
- 地理的条件
- 本人の事情で帰宅できない
- 家庭の事情で帰宅できない
- その他

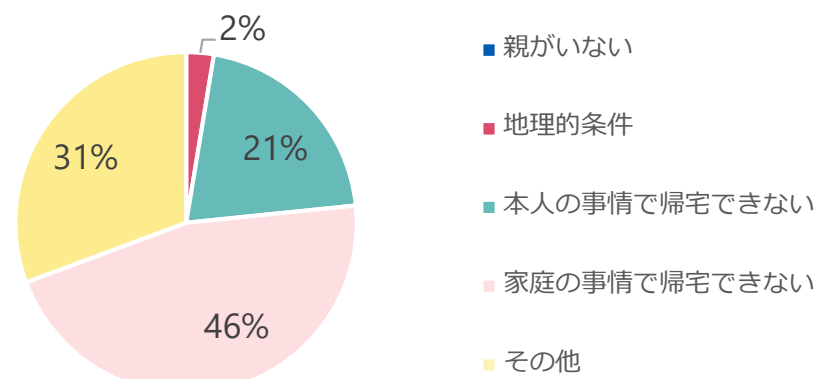
医療型障害児入所施設

	措置	契約
外泊できない児童数	666	963

外泊できない理由（措置）



外泊できない理由（契約）

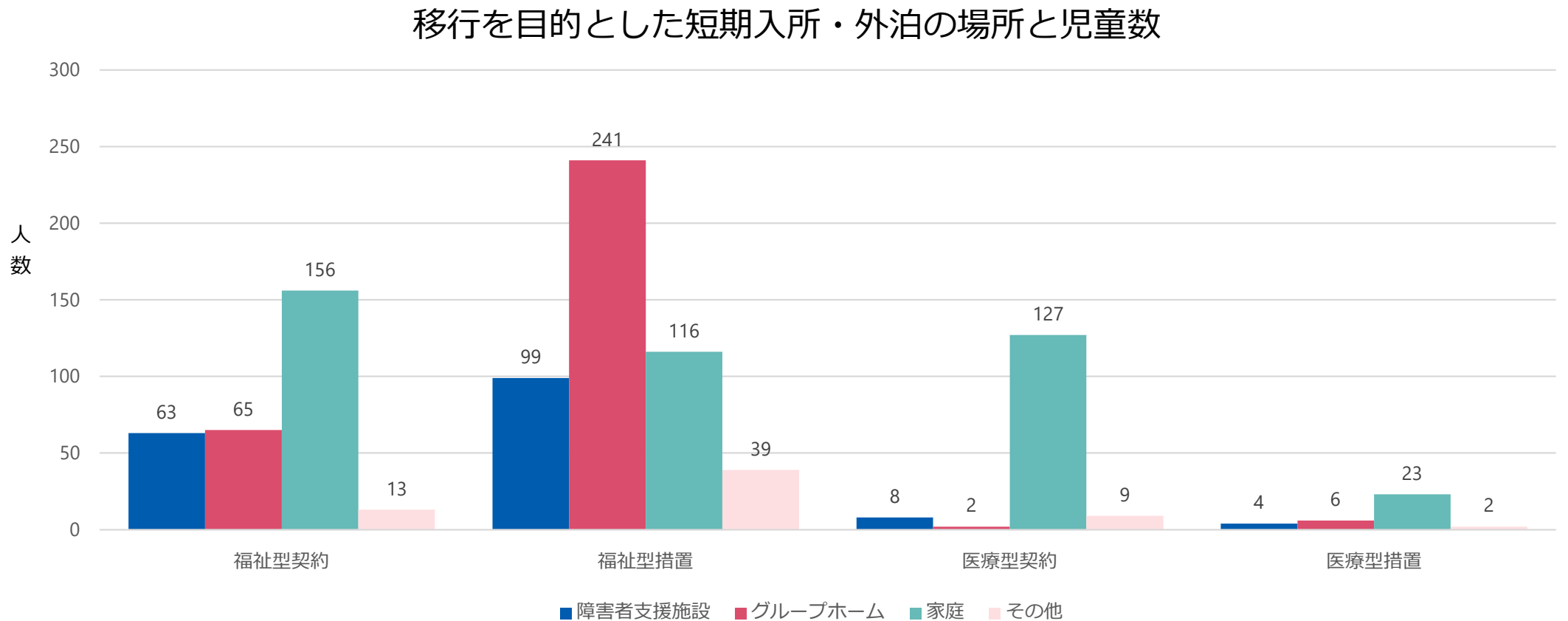


- 親がいない
- 地理的条件
- 本人の事情で帰宅できない
- 家庭の事情で帰宅できない
- その他

出典：こども家庭庁支援局障害児支援課調べ（令和7年4月1日時点）

19. 移行を目的とした短期入所・外泊の場所と児童数

速報値



N=4623

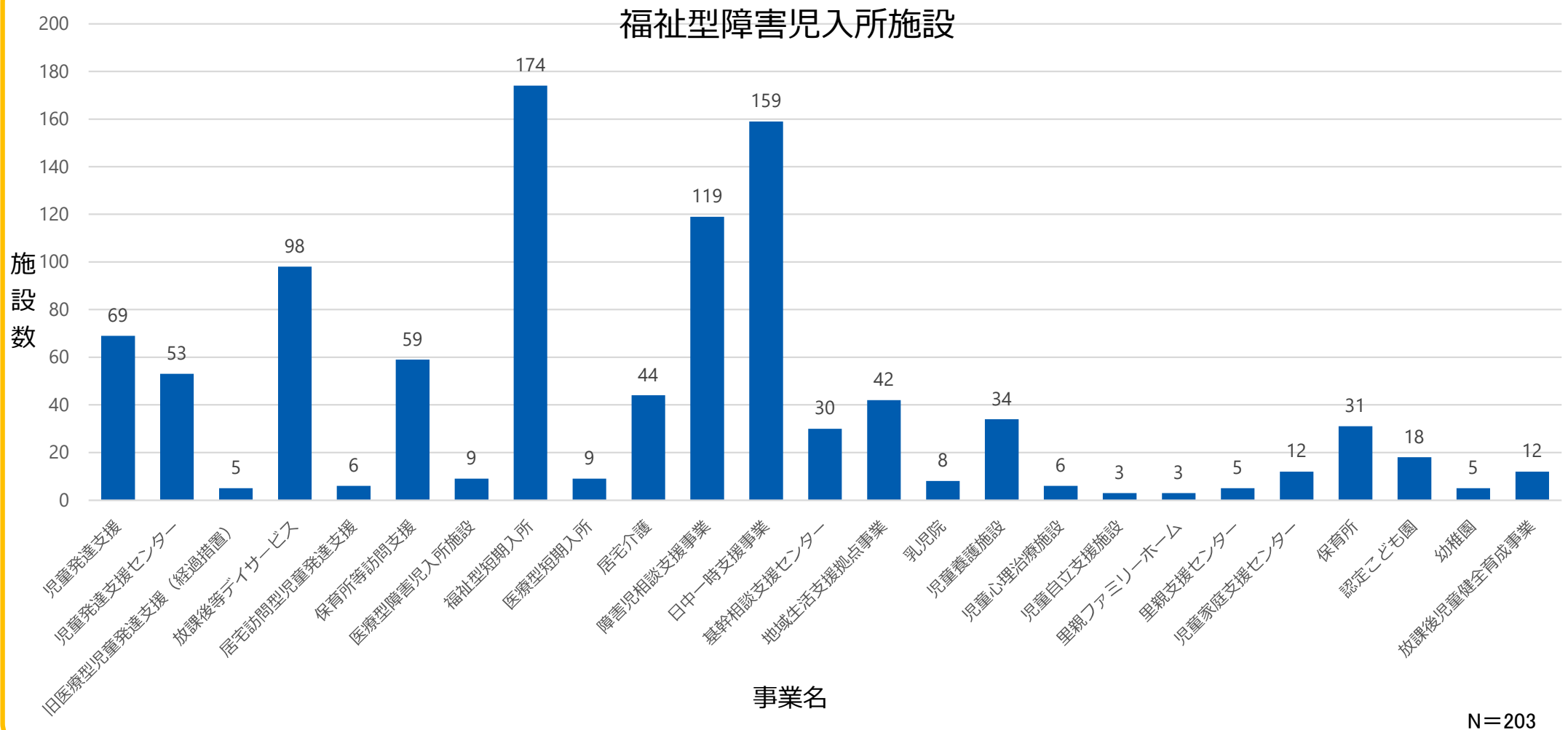
出典:こども家庭庁支援局障害児支援課調べ(令和7年4月1日時点)

20. 障害児入所施設が併設、または障害児入所施設を運営する法人が実施している事業【福祉型】

速報値

現状

- 福祉型短期入所、日中一時支援事業を実施している施設が多い。
- 児童発達支援、児童発達支援センター、放課後等デイサービス等の障害児通所支援事業を実施している施設も一定数ある。



出典:こども家庭庁支援局障害児支援課調べ(令和7年4月1日時点)

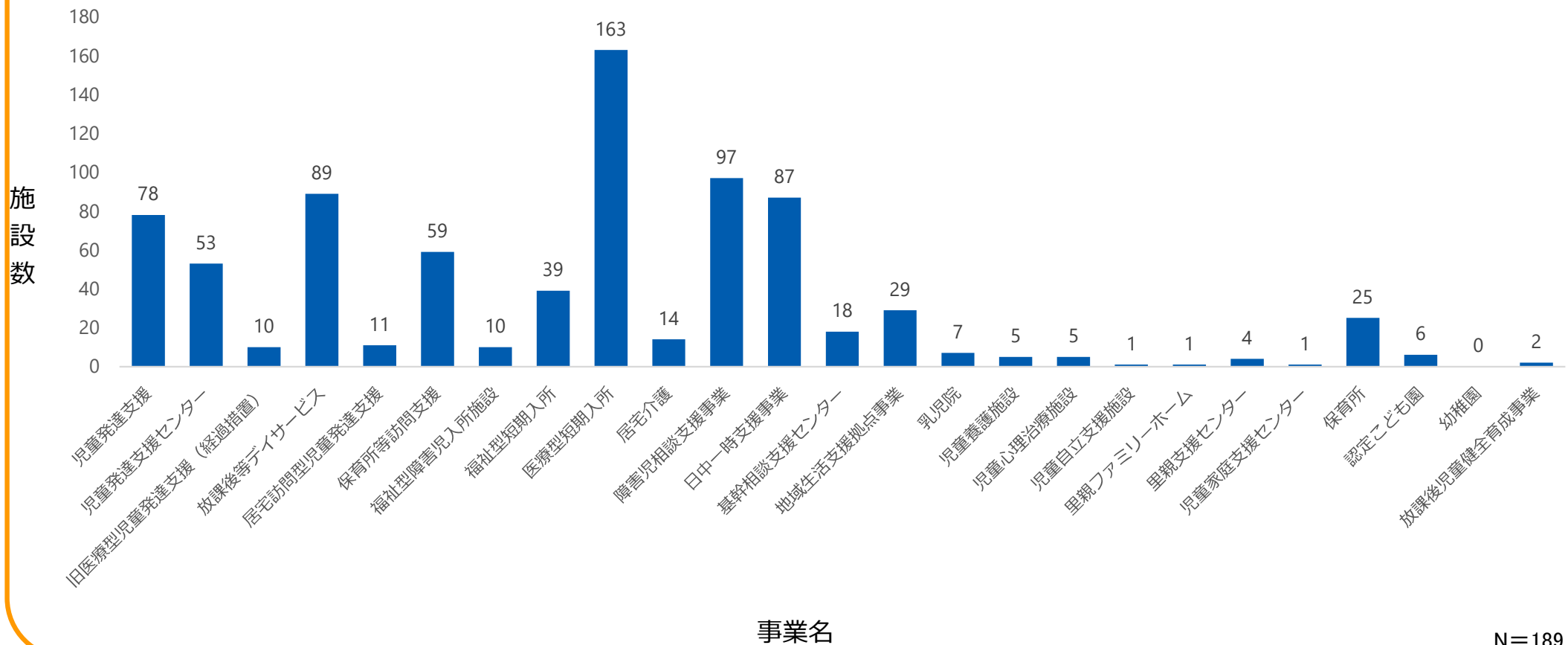
20. 障害児入所施設が併設、または障害児入所施設を運営する法人が実施している事業【医療型】

速報値

現状

- 医療型短期入所を実施している施設が多い。
- 児童発達支援、児童発達支援センター、放課後等デイサービス等の障害児通所支援事業を実施している施設も一定数ある。

医療型障害児入所施設



出典:こども家庭庁支援局障害児支援課調べ(令和7年4月1日時点)